

「辞書を置かない考える英語教室」

前座の英語

2022 年度 (合本)

Pre & Prep. English

2022 full ver.



物書き

うときゅういっき



ネパールカレー屋「ナマステ」別館堂

& 英語教室「すすき野留学」主人

辞書を置かない

考える英語教室

「前座の英語Ⅱ」

2022年（合本）版

“Pre & prep. English II” full version in 2022.

「日本の人は日本語みたいに、ひらがな、カタカナ、漢字と三通りも在るようなメチャクチャ難しい言葉を難なく喋っている。すごいよなあ」

と横浜市青葉区すすき野の街の外国人さん。

「だったら英語みたいに難しくない言葉を、それこそお茶の子さいさいで喋れても良いはずなのに、なんで誰もしゃべれないんだろう？英語みたいにいい加減な言葉を喋るのはプライドが許さないのかもしれないなあ」

と、外国人さんは答えに困って妙な誤解答を引き出しているようです。

本書の願いは、その我々自身が生み出してしまっている謎の答えを解き明かし、成る丈多

くの我が国同朋が英語のみならず我が国国語会話においても臆することなく「正々堂々と」話してみようかなという気持ちになって戴ける事です。

2021/6/26

(序)

何故、大方の我が国国民は穎悟がしゃべれないのか？

(仮説1)

前にいる外国人より、後ろの我が国同朋のチェック目線やひそひそ話が怖いから。

(仮説2)

学校の規則と一緒に、学習内容が細目に渡って細かすぎるから。

何故細かいか？

受験英語だから。

受験英語は落とすための英語。簡単に言うとあら探し英語だから。

(仮説3)

結果、失敗を怖れて何かをする前からビビりまくって手も足も出ない「だるまさん状態が常態」だから

ではないでしょうか。

(結論)

だったら、

「失敗はない。経験があるだけ。だから失敗は成長の糧」

「ダメ元、元々ゲンキの素。開き直れば花が咲く」

で、まずはハードルをうんと低くして

「使えるものなら何でもあり」

から始めてみましょうよ。

(序 二段)

筆者は海外赴任、海外留学をした事はありません。英語学校にも通ったことはありません。

では、何処で英語を覚えたのか？

ご当地「横浜市青葉区すすき野」の地においてです。

周りに敷金礼金なしで自然環境がとてもいい UR 団地群が一杯あり、英語を話すアジア系、スラブ系外国人さんが沢山住んでおり国内にいて留学したのと同じ環境があったからです。そこに、ひよんな事から定年退職後、ネパールカレー屋を開くことになり、従業員もお客様の一部も外国人だらけだったからなのでした。

そこで分かったことは「正しい」英語を話すことより「どうやったらたまたま隣にいる隣人（我が国国民でも外国人でも）と意思疎通を図れるか？コミュニケーションできるか」の方が遙かに大切だと言うことでした。

つまり目的が全然違ったのです。

「正しい」ではなく「分かってもらえるか、相手のことが分かるか？」だったのです。だとすれば、語学は単にその一手段でしかない。他にもジェスチャーやら表情やらハグやらイラスト、図表、ナンだっけ使えるんだ。何を使ったっていいんだという具合に考え方がまるで変わってきたのです。

そう思うと受験英語の正しさなんて、広い体育館の端っこの、平均台の上を後ろからナイフを突きつけられながら、恐る恐る歩いているようなもので、実につまらないというか意味の無いことのようにも思えてきました。

それって外国人から見たら「変にしかみえないよなあ。何を端っこの方でビビっているんだ？体育館はこんなに広いのに。平均台から床の上に降りて走り回れば良いのに」と言われているような気もしました。

因みに自分は大学一年次の必修英語を5年間落とし続けて6年目にやっと単位を取った位のレベルの英語学力でした。（恥ずかしながら大学院進学ではなく2年間留年したと言うことです）

それもそのはず、英語は「学力」ではなかったからです。

英語は「上から習って教わるもの、定型を覚えるもの等ではなく、考えて自分なりに創り出す事のできる極めて自由度の高いもの」

でした。

国の数だけ、もっと言うと人の数だけ個性に応じた英語の種類があってよかったのです。全く意外にも。

これらの「序」「序 二段」にご興味を感じられましたら、まずは騙されたと思って読み進めてみて下さい。

つまらなければ何時でも「ポイ」できますから。

それで一向にかまいませんので。

●目次に変えて

当合本は掌編小説集付属「オマケの英語教室」の第11集から第17集までで、2022年に掌編小説付属として掲載されたものの合本で御座います。

2023/6/7

(本編)

第11集

2022/10/19

(オマケの英語教室 surprised) 書庫版



Wow, Great!! I'm very surprised!! I'm so, so happy, thank you so much, Honey!!

(わっ、すごい。びっくりした～。とっても幸せよ、ありがとお～、あなた)

これは surprised の使用例です。

場面は、恋人から思いがけず素敵なプレゼントをもらった時とか家族から想像していたよりずっといい誕生日のプレゼントをもらった時とかです。勿論、家族の場合には Honey は付きませんが。

このように外国で surprised (驚いた) を使う時は、いい事に驚く場合が殆どで、悪い事に驚く場合には Oh My God(OMG)!!とか Oh, it's so bad!!の bad に物凄く力を込めて言う事とかが多い様です。

で、又、いつものようにこの surprise(d)と言う語を分解してみますと

Sur + prise(d)で構成されている事が見て取れます。

因みに接頭辞 sur は「の上」とか「の表面」とか、お馴染みの処では superman(sur + per + man)で「超」(superman の昔の和訳は超人、でした)とかの意味を表します。

では prise とは何か？

是は award なんかと一緒に「賞」を表します。

なので、これを続けると「賞の上」「賞超え」となります。

是をフランクな言い方に変えますと「賞をもらった以上の驚き (喜び)」の意に思われます。

さらにオマケで superman を見てみますと上記で申し上げましたように sur + per + man に分解されたうちの sur + per に着目すれば sur で「超」per はパーセント(percent)などでお馴染みの「100 (=100 を表すフランス語) に対しての」と考えれば「100 超えの」となり、まとめてみれば、superman=超人=100 超えの男と解釈できます。

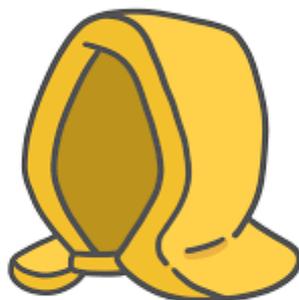
となれば、

Superman was surprised (スーパーマンが驚いた) の場合は、相当、可成り、空前絶後的に驚いたことになりそうです。

Thank you.

2022/10/20-2

(オマケの英語教室 hood)



「赤ずきんちゃん、気を付けて、ね」の題名に因んで、英語で頭巾（ずきん）をなんていうのか？を考えてみました。

無論ネットで調べれば童話「赤ずきん」の題名から「頭巾」の英訳は直ぐにも分かるのですが、それでは面白くないので、例の推理ごっこを今日もしてみる事にしました。

頭巾と聞いて、まず思い浮かんだのが cap とか hat ですが、直感的に形状が違う気がしました。Cap も Hat も頭にちょこんと乗せる様な気がしたのと、耳が隠れていない気もしたのです。矢張り「頭巾」と言うからには「防災頭巾」のイメージが湧いて Cap も Hat も「覆う」「耳まで隠れる」と違っていただけからです。

それでは、耳まで隠れるような頭を保護する目的に近い「覆い（おおい）」はなんというのか？

他のもので近いイメージはないのか？を考えてみました。

Cover、helmet。でもなんか違う気がします。特に helmet は耳が出ていますし硬い感じがするからです。Cover は何となく近い気もしますが、それだと顔まで覆ってしまう感じがあります。

はてさて、他にないものか？

とお店の厨房をなんとなく見ていたらレンジフードで目が止まりました。

「レンジに覆いかぶさっているし、レンジとフードの間には距離がある。頭巾も覆いかぶさるように頭を保護しているし、中に空気の溜まる空間もありそうだ。

それで取り敢えず hood を充てる事にしました。

ところで、なんで「赤ずきん」なんでしょうね？

なんで「赤」なのか？何か特別な意味があるのか？

単に女の子だから「赤」と付けただけなのか？

また時間が出来たときに、その先を考えてみる楽しみを残しておくのもよさそうです。
She wears red hood. But why the color is red? Huum?

2022/10/21-1

(オマケの英語教室 freak)



子供時代、よくテレビを観ていました。その頃の言葉で言う処の「テレビっ子」本書の中にも子供の頃みんなが見ていたアメリカテレビドラマ「パパは何でも知っている」というのが出てきます。他にも「ララミー牧場」とか「コンバット」「白馬に剣士」に「てなもんや三度笠」「番頭はんと丁稚どん」「シャボン玉ホリデー」将又「0011 ナポレオンソロ」とか「ミステリーゾーン」ウルトラマンの前身の「ウルトラ Q」から「月光仮面」、アニメでは「鉄腕アトム」の実写版から始まって「魔法使いサリー」「ヒミツのアッコちゃん」「エイトマン」「宇宙少年ソラン」「スーパージェッター」「鉄人 28 号」「おそ松くん」「オオカミ少年ケン」に至る迄、余すところ隙間なく数え上げればきりがありません。

では、その様な子供だった自分、即ち「テレビっ子」の事を英語で何というのか？を今日は考えてみました。

Child of TV

ではないでしょう。

因みに TV がテレビジョン受像機の場合は英語で TV set、テレビ番組の場合には TV program と読んでいます。

当然ながら外国にひとに「テレビ」と言っても「What?(なんのこっちゃ、ねん?)」と言われるのがオチです。

基。

テレビっ子の根本は「オタク」です。今なら「ゲームオタク」でしょう。そんな言葉あるのかどうか知りませんが。

オタクと言えば世間一般からは「やや変人扱い」されているかもしれません。となれば「変人」「奇人」「好き者」を英語で何というかを考えてみればいいような気がしてきました。

これは言わずと知れた「フリーク」英語で freak.

コーン「フレイク」corn flake(s)じゃなくて「フリーク」freak.

となれば

「テレビっ子」 = 「テレビ番組オタク」 = TV(program)freak kids=shortly TV freak kids
になりました。

勿論あっているかどうか「尚、当局はこの件に関して一切関知しないから、よろしく」で
す。

上記の「尚、当局は」で始まる文言は矢張り昔、夢中になって観ていた「おはよう、フェ
ルプス君」で始まるアメリカ TV ドラマ「スパイ大作戦」mission impossible の冒頭、その
回の任務命令伝達の締め文句です。

詰り「おはよう、フェルプス君」「任務命令」「尚、当局はこの件に関して一切関知しない
ので、よろしく」が、それ。その後、「任務命令伝達録音テープが自動消滅し」命令を受
けた隊員たちが席を立てて散らばり、その回がスターとしておりました。

This mission is impossible?

No, it`s possible. we can have done it, anytime.

Sure, Boss.

(因みに、have done it は do it より強く、単に出来ると言うだけではなく「任務を成し遂
げる（達成する）事ができる」というニュアンスの濃い、より任務達成への決意や執念を
表す文言です）

Thank you.

2022/10/22-2

(オマケの英語教室 learn vs study) から転載。



お店で一般外国人や外国人従業員相手に日本語や英語を教える時に使うのは learn という言葉ばかりですが、少なくとも中学までは learn という言葉は滅多に出てこず study という言葉ばかりでした。いや、study しか知らず learn という言葉は大人になってから初めて知りました。それもある英語教材の広告で。曰く Speed Learning。

最近話題の Big Data の処理に使われたりする AI の元になる Deep learning 深層学習とか会社ではある失敗が起きると、それを基に再発を防ぐための方策を建てるために、その失敗例を参考に「Case study しておけ」とか現代の社会生活においては、両方が使われるようになっておりますが、自分が子供の頃には study 一辺倒でした。

話は変わりますが、中学入学前まで、自分は学習研究社の「学習と科学」という雑誌をよく読んでおりました。そういう意味では「勉強」より「学習」という言葉に、先に接したことになります。自分の中心意識としては。

では、学習と勉強。Learn と study は何が違うのか？

自分の経験からすれば上述の「学習と科学」から「学習」は興味深く面白いイメージ。

一方「勉強」の方は「いやいやながら仕方なくする」イメージです。

是を、漢字を用いてお話しすると「学習」とは「学び習う事」

因みに是の漢字を見ると学習の「学」には「子」が入っていて「習」は「まっさら（白）なものが羽ばたく」と読めます。続けますと「まっさらな子が羽をはばたかせて飛び立つ」イメージが浮かび上がってきます。

一方勉強の方は将に読んで字の如く「勉め（つとめ）を強いる（しいる）」イメージです。勉強の「勉」の中にある「力」と「強」の中にある「弓」を続けると「力づくに弓を引かせる」イメージが浮かんできます。

また少し唐突な言い方をしますが、

「学習」learn の方は何か自発的で先生と生徒のやり取り（対話）communication が感じられますが「勉強」study の方は何となく生徒側だけの one side one way な心象をもっています。

又 learn は上限や定形がないイメージなのに対して、study の方は枠や形在りの「課題こな

し」のイメージがあります。

なので、お店では相手に殆ど study しろ (Do a study by yourself own) とは言わず learn しましょう (Let`s learn together or to each other)を使う事が多いのです。

●To learn is on field catch ball (広場キャッチボール) , To study is inside course(lane) rushing (馬車馬競争) I image.

Thank you.

2022/10/22-4

(オマケの英語教室 shortly N2) からの転載。



日本語は厳密で難しいのに、或いは厳密で難しいからか、我々はよく言葉を略しがちです。短く切り詰めがちです。

例えば今日の掌編小説の最後に出てくる「アルミ」

処が外国人に「アルミ」と言っても全く通じません。英語 Aluminium(=米語 aluminum)とフルで言って初めて通じます。

他には「サボってんじゃねえよ」と片言の日本語交じりで言っても通じず「サボタージュ (sabotage)してんじゃねえよ」と叱らないと通じません。

処が会話文の書き言葉にするとアプリによっては「アルミニウム使ってんの？」とか「サボタージュしてんじゃねえよ」のアルミニウムやサボタージュに「ベストな用法じゃないよ」を表す二重線下線や破点下線が付くケースがありました。無論全部のアプリがではありませんが。

矢張り日本語はややこしいのです。或いはアプリを作る人の頭が良すぎるのです。

なので、せめてローマ字アルファベットで「アルミ」なら「alumi」と書けば、未だしも救われるケースが多いのではないかと、自分は外国人日本語学習に於いて盛んにローマ字の活用を申し上げておるわけです。

なにしろ、カタカナひらがな当用漢字、日本語学習をスタートするのに 2000 文字近くは、余りにもハードルが高すぎて、95%の外国人が鼻から give up する可能性があります。

その読み書きをローマ字アルファベット表記主体にしたらたった 26 文字で済んでしまうので、彼らの負担が大きく軽減されましようから。漢字を読もうがアルファベットで読もうが発音自体は全く一緒ですから。

漢字は正確に読み書きできなくても、ある程度のパターン認識さえできればすむんじやな

いでしょうか？

外国人に漢字で書けという事は滅多にありませんし。

日本語検定2級（N2）とかのテスト以外には。

兎に角語学の目的は、正答率ではなく円滑なコミュニケーションの筈です。外国人にばかり押し付けないで、こちらも工夫する必要があるのではないのでしょうか。

No need paper test. Hope communicating to each other. That`s all.

Thank you.

2022/10/23-2

(オマケの英語教室 on foot) からの転載。



「徒歩で」と言うのを外国人さんは on foot (足に乗かって) と言っております。
By foot だと何となく「足技で (足によって、足を使って)」のニュアンスがあるらしく
with foot だと「(手や何かに) 足を添えて (足を伴って)」のニュアンスがあるからのよう
です。なので、on foot と。

しかし徒歩なら大抵の場合両足で歩きますから論理的には on feet ではなかろうかとおも
うのですが、矢張り on foot と言っております。

多分 feet を使うと on に対して音が長すぎるからかもしれません。

「オンフット」と「オンフィート」

語呂の関係ではないでしょうか。

言葉と言うのは、元々は音から始まっていますから、言い易く聞き易い方を選ぶのでしょ
う、理屈や論理よりも。

多分。

(注1) 写真は「本編」でも採用の、徒歩 (かち) で進む「足軽」(戦国時代の歩兵) と
「(徒歩) 登山の様子」です。

(注2) 「徒歩のスピードで」「徒歩速で」なら speed by foot でもいいのかもしれませ
ん。「(自転車や何かではなく) 足を使った場合での」スピードになりますから。

Thank you.

2022/10/24

(オマケの英語教室 copy) からの転載。



本編の題名を「親のコピーを作ろうとなんかしなさんな。子は子なんだから」もっと言え
ば「似た様なものを（次から次へと）作ろうとしなさんな」に因んで直訳的には「コピー
は止めろ」としてもよかったんですが、敢えて「コピペ、止め」と致しました。

その真意は、コピペ、即ち copy and paste を使う事で、自分の写し絵、影武者、分身を子
に押し付けるイメージを喚起したかったので敢えて「(上から) 押し付け、貼り付け」イ
メージを湧かせる目的と

「何から何まで次々と安易に複製を作りなさんな」という意味合いも込めて

「コピペ、止め」という題名を取らせて戴きました。

処で paste の方は糊で張り付けるというその糊由来であることから納得しやすいのですが、
日本語でコピーする、その copy という英単語はどうしてできたのか？を本日は考えてみ
たいと思います。

例によって copy という単語を co + py に分けてみます。

まず co ですが是は「共」「共に」を意味します。

例えば co + operate で「共に」「運営する」で cooperate その名詞形 corporation は「会社」
となります。Co-having で「共有」coworking で「共働」とかです。

では py は何なのか？

自分の知っている範囲の単語の中から探し出して想像した処、是は picture を意味してい
るのではなかろうか？と思いました。

詰り co-picture 「絵を共有する = 写し絵をする = copy」となったのではないかと。

即ち py は picture の短縮省略形であろうと。

余談ですが英語で「真似をする」も copy を使います。

My son copy(copies) you (息子があなたの真似をするのよ)

He always try(tries) to copy you(この子、いつもあなたの真似をしようとするの)

2022/10/24-3

オマケの英語教室 cat-fish ver2



先ず初っ端は題名の件から。

中身は異なると思いますが以前にもこのお題で記事を書いた記憶がございますので「題名被り予防」の為に敢えて ver2 を付けさせて戴きました。

次に同名の魚 catfish は実在する魚類ですので、それとの混同を避ける為にこれも敢えての処置として「-」を入れて cat-fish と表記させて戴きました。

では、本題。

Cat-fish と言うのはスラングで「なりすまし」の事です。

であるなら「猫になりすました魚 cat-fish」じゃおかしいんじゃないの？本来なら「仲間の魚になりすまして寄ってきた魚を捕る猫 fish-cat」の方が語順として正しいんじゃないの？fish が形容句で cat が被形容句の係り受けだとしたら。

そう思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？実は自分もそうでした。

「語順反対、ちゃうかあ？」

と。

恐らく論理的には語順として fish-cat の方が正しいかと思われます。

しかし何度も申し上げておりますように、言葉と言うのは言い易く聞いて耳に心地よい方が残ります。淘汰選別を経て。

なので、この場合も、意味優先よりも、より言い易く聞き易い cat-fish (abc の c の次に f が来ており f の後に c が返り咲くより流れが自然に聞こえるからです) に語順が転じたのだと思われます。たとえ実在の魚の名前に被ったとしても。

アメリカ本土に行ったことは一度もありませんが、地方によっては意味優先で fish-cat と言っている地域があるかもしれませんがその点は、悪しからず、お願い申し上げます。

(注)

実は上記の「淘汰選別」も進行の流れからすると選別の末の淘汰で選別淘汰の方が正しいのですが、敢えて語呂優先で淘汰選別と記しております。

この場合は上記の説明 c と f の件から申せば「せ」の次に「と」の並び順がいい事になりますが、それ以上に此処では「3 文字読み」から入って「4 文字読み」に移る方が、流れがいいからで御座います。

2022/10/25-2

(オマケの英語教室 repair)



修理することを repair と言います。

又、「修理する」にあたるこの英単語を分解してみますと re + pair となります。

Re は再びとか元の状態に戻す、又は繰り返す事を意味します。

Pair は日本語でもおなじみの「ペア」です。詰り「対 (つい)」「つがい」(2羽のつがい)とか「カップル」の事です。

となると英語の repair とは「元の対、つがいの状態に戻す」事となります。

何か日本語の「修理する」と全然違う感じがしますが、意味は同じです。

日本語の「修理」又は「修繕」は、前者なら「理 (ことわり) を修める」後者なら「繕い修める」とかなり硬い感じし、事も大袈裟に聞こえるのですが、英語で同じ意味を表す repair にはそんな「御大層さ」はなく、例えば「元のつがい (2羽) の状態に戻してあげる事」とかなりメルヘンチックです。

我々爺じ婆ばオールド世代が、送電線等に 2羽並んで留まっている鳩の事を「つがいの鳩」って言うのをきいたこと、ありません？

それにしても面白いのは英語を作り出した民族の考え方は「基本はつがい、対である」という発想です。もっと拡大して言えば「基本の状態は一人 (孤立、孤独) ではない」と言う発想。

こうした発想から、結婚しているか否かを問わず「伴侶」の事を partner と言うのでしよう。日本語では「連れ合い」といいます。日本語では「連れ添う」と同時に英語では「相手は自分の一部 (部分) である」という発想です。

なにしろ partner の語幹 part は将に「部分、部品、一部」の意味だからです。

因みに今回出てきた「つがい (番い)」の原義は「絆、繋がり、連結」です。皆さんは扉と枠を繋いでいる「蝶番 (ちょうつがい) = 英語 hinge」と言う部品を見たことがあるでしよう？あれの事です。「番い」の元は。

それにしても、言葉ってよく見ると色んな考え方や発想の原点が分って本当に面白いし、実によくできているものだなあと日々感心させられております。

Wow, words the Great!! Any language it is.

(わあ、言葉ってスッゴオ!! どおの国の言葉でもお)

2022/10/26-2

(オマケの英語教室 audio video)



近頃の人々は AV と言えば大抵 Adult video を連想されるようですが、自分は会社員時代映像関係の事業部に在籍していた事がありましたので AV と言えば一番目には Audio Video(or visual)を連想いたします。

当然ながらどちらの AV も大好きです。但し関係事業部に在籍していた割には、操作は苦手です。AV 関連機器ではありませんが、パソコンやスマホの操作ではしょっちゅうトラブっております。

余談はさておきまして、お題の audio video の件。

Audio の“au”は KDDI の au では勿論なく、audience (聴衆)に見られますように音に関する意味合いです。

一方 video の“vi”はビジュアル系と言う言葉でも有名になっておりますが、visual (視覚の)とか visible (可視的な、目に見える)に関わる意味合いです。

では“dio”や“deo”は何の事なのでしょう？

当然今回もいつもに倣って辞書は一斉引かずに連想だけでお話を進めて参ります。

因みに外国人さんは video の発音を「ビデオ」ではなく「ビディオ」と発している事が多い様です。つまり表記は“deo”なのですがどちらも“dio”と考えても差し支えない気がしております。

では“dio”とは何なのか？

しかし、中学までに習った英語に関する知識をあれこれ引っ張り出してはみたものの、其れに該当する項は全く見当たりませんでした。

さてどうするか？

話は変わりますが自分の親父は大のシャンソン好きで自分も中学生の頃から親父の聴いているレコード盤のシャンソンに親しんでまいりました。時々レコードについているフラン

ス語の歌詞なんかを眺めたりもしましたが、当然フランス語なんて分る筈も在りません。その中でエディトピアフと言うフランスでは国民的な歌手のものがありました。そのいい曲の中で何故かひととき印象に残ったフレーズがありました。それは

「モン、ディユウ、モン、ディユウ」と言う非常に力のこもった歌唱の一節。

で「是は一体何のこっちゃねえん」と親父に聞きました処

「我が神よ、と言う意味じゃ。因みに Mon Dieu と書く。A Dieu アデューとか A Dios アディオスとか知らんか？両方共最期の別れ、いうこっちゃ。神様の処で（会いましょう）と言うのが原義じゃ。前者がフランス語、後者がスペイン語だわ。フランス語で最後じゃない別れ、さようならは au revoir オールヴワール（また会いましょう）じゃ」

Dio に関する記憶の中のヒントはこれしかありませんでした。

なので、今回は強引に Audio video とは「神さまの耳と目 又は 神さまから頂戴した耳と目の為のお楽しみ」という事にしておきます。

甚だしい疲労のせいかな、最近かなり自分もぶっ壊れて参ったようです。

何か全然違う気もしますが、そんな訳で今回はご容赦くださいませ。

（注）

因みに A Dieu の A の頭の上には「、」が付くらしいのですが、付け方が分からないので A だけですませておきます。いつもながら、悪しからず、にです。

2022/10/26-4

(オマケの英語教室 Tasuki)



本編の中に出てきます「帯に短し襷に長し」という言葉、意味としては「中途半端」という事かと存じますが、是をそのまま直訳英語にするとどうなりますでしょうか。

It's (a)too short for belt and too long for tasuki

になるかと思えます。

「ええ？襷が Tasuki なんてローマ字書いただけじゃないのよ。何と空ぼけてんの、このタコオヤジは」

と当シリーズに出てくる息子役君なら、まず間違いなくそう申すでしょう。

しかしどうしても英訳出来ない日本語と言うのが存在致します。

正確には「短く端的な言葉では訳す事が出来ない」です。

ずらずらと長い説明的な文章なら可能ですが、一語で訳す事の出来ない日本語、

例えば、古くは我が国固有の料理 sushi, sukiyaki, tempura に始まって、他には主にスポーツの judo, waza-ari, ekiden、そして実は駅伝で使われる tasuki も、なのです。

意外なところでは mottai(or e)nai もそうです。我が国では余りにもよく使われている「勿体ない」が外国語訳出来ない事を知った時、是は自分にも将に「意外」でした。

話を元に戻しましょう。

実は上記の英訳文を書きながらまだ違和感を覚える処が別にありました。

それは「帯」を「belt」と訳した処です。

英語の belt と言うとどうしても洋服用革製のベルトを思い浮かべてしまうからです。

しかし belt from fabric (布製ベルト) とするとこれまた何か妙な気がします。和服用ではなく洋服用の布製だけれどファッショナブルなベルトを思い浮かべてしまうからです。

英語を日本語にするのは（気分的には）それほど難しくはないのですが、日本語を英訳しよう（まともに考え始めると）結構難儀を感じてしまいます。

むしろ冒頭で述べた意味である「中途半端」を英訳した方が遥かに楽な気がします。

自分はそのジャストな単語を知りませんので

It`s like a little bit still not enough (yet)and a little bit too much (or more over), also

直訳しますと

ちょっと未だ十分じゃなくてちょっと余計でもある様なもの

と言った処でしょうか。

難しいんですよ、英語じゃなくて、日本語の方が。

(補足) addition

「帯に短し襷に長し」を最大限端折って「その状態にだけ着目する手を使う」とすると

It`s not Just

或いは

What not just

ジャストじゃない (下は、ジャストじゃない処のもの)

にするのは有りかもしれません。

(補足の補足) addition tip on addition

中学で疑問詞ではない what の訳を「処のもの」と習いましたが、よくもまあこんな言葉、考えついたものだ、50年近くたった今、改めて当て付がてら「愕然的に驚愕」しておる次第で御座います。

(補足の補足で補足) additional tips on, on addition

本編では俳句では短すぎると書き、こちらでは逆に格言と和文英訳が長すぎるとまるで正反対の事を書く事態になっておりますが、これも日本語の世界に比類なき表現形式の多様性故の様な気もしております。兎に角日本語は「一筋縄では行かない」事を痛感しております。

2022/10/27-2

(オマケの英語教室 bottle neck)



本編の中に出てきます「何も危機管理って米や水云々」の件（くだり）から水のペットボトルを思い出し、ついでに自分が毎晩手晩酌しているウイスキーのボトルを思い浮かべました。

何の話かと申しますと本編お題のテーマである「危機管理」に因んで bottle neck 即ち「隘路（あいろ）」の話で御座います。

釈迦に説法かもしれませんが「隘路（あいろ）」とは「そこだけ道幅が狭くなって通りにくい難所」の事を表します。

大昔の戦で、此の道幅が狭くて両の脇が小高い丘になった処が攻める側にすればもっとも攻めやすく、守る側（その道を通る側）にすればもっとも危険な箇所であったわけです。それを譬えて英語では、この難所、詰り与えられた課題の解を得るのに最も難しい処を「谷間の道」ではなくウイスキーのボトルの形状に例えて bottle neck という様になったわけです。

では、なぜウイスキーの瓶（ビン）の首の当りが狭まって（すぼまって）いるのか？

答えはウイスキーの液体がいつべんに飛び出さないようにするためです。

どういうことかと申しますと、外からの空気を一旦ボトル本体に入る前に口からネック迄の間に残る様にしてウイスキーの中身の飛び出しを抑えるという事の為に瓶が途中ですぼまっているのです。

皆さんもウイスキーを注ぐときの「トクン、トクン」という音を聞いたことがありますでしょう？

あれは入ってくる空気圧のおされて中の液体が空回りして波打つ時に起こる空気と液体の摩擦共鳴音なのです。

処が同じボトルでもペットボトルやビールの瓶にはそれがありません。

何故か？

これは飲み方のスタイルとアルコール濃度の関係からきている様な気がしております。

勿論推測ですが。

ではその推測とはどのようなものか？

まず、昔のウイスキーの飲み方と言うのは小さなグラスにチョコっとだけ注いで飲んでおりました。

一説によれば是は本場英国では通じないと耳にした事がありますが、我が国ではバーなどで有名な「ワンショット、ワンフィンガー」「ワンショット、ツーフィンガー」

詰り「グラス一杯、指一本分の高さの分量」「グラス一杯、指二本分の高さの分量」の事です。特に後者や「ウイスキー、ダブルで」等と言ったりもします。

要するにウイスキーは指の本数換算する位の良しか飲まないスタイルだったという事です。では、何故ウイスキーだけその様な分量でしか飲まないのか？と言えばアルコール濃度が高くガブ飲みドカ飲みの鯨飲には適さないからです。ビールをジョッキで飲めるのはアルコール濃度が低いからではないでしょうか。因みに中間濃度のワインや日本酒のボトルにもネックがありませんでしょう。

「おっちゃん、それ、ほんまでっか？」

今日も又当たるも八卦当たらぬも八卦のオマケの英語教室で御座いました。

2022/10/27-3

(オマケの英語教室 fall)



本編中に fall という英単語が出て参ります。

そこでは「落ちる」という意味の動詞として使っております。

Daraku(墮落)means To fall into and additionally to be fallen into

(墮落とは自ら落ち、又続けて周りから更に落とされる事である)

自分は墮落と言う英単語を知りませんでしたので、平叙文を使ってそう言いかえた訳です。

一方英語では fall を他に

季節を表す名詞「秋」や同じく名詞の「滝」(fall の場合もあれば waterfall という場合もあります)としても使っております。

要するに英語では fall という一つの単語をシーンに応じて「落ちる」「秋」「滝」と使い分けている訳で御座います。

コアになるイメージは「落下」だけ。

後はシーンに応じて、それが「木の葉の落ちる季節」であれば「秋」として。

目の前で川の水が落下していれば「滝」になり、

そのいずれをもを抽象化すれば「落ちる」「落下」となっている訳です。

処が日本語は是を厳密に分けております。

曰く

「秋」名詞

「滝」名詞

「落ちる」動詞

で、夫々の漢字もそれを目にした感じも全く異なる。

つまり我々が日頃使い慣れている日本語は英語と比べて、一語の汎用性や間口が極めて狭く、不寛容なのです。

是は国民性や民族性にも影響を及ぼしている気がします。外国人と仕事をするようになってから気づいた事です。

なので、この汎用性が乏しく間口の狭い日本語を、汎用性やアドリブ感が強い英語に慣れた人々が学習するにあたっての戸惑いや困難さが肌で感じられる昨今の自分なので御座います。

2022/10/28-2

(オマケの英語教室 trace)



今日も又、ですが本編中で「手本」と書こうかどうか迷った箇所があり、矢張り「手本」だとちょっと強すぎると感じたので「手習い」(その個所では参考手習いと書きましたが)と書き改めました。

手習いは、自分の中では「書写本」即ち「お手本通りに書き写しをする」イメージでした。確かに其れもどうかと思いましたが、結局皆様がお読みになられた時に感じるであろう「手本」と言う言葉が醸し出す「押し付けがましさ」を避けるために、あまり納得はしなかったのですが「手習い」と言う方を採用いたしました。

処でこの「手習い」英訳しますと、ジャストではありませんが trace(原本のなぞり書き。動詞は「なぞる」)

敢えてそれを持ち出したのは、実はその言葉に一つの思い出があるからです。

その話とは、自分が若い頃付き合っていた彼女がトレースのアルバイトをしていて、その折どう考えても原本の設計図そのものが間違いである箇所に気付き、上司に相談したところ、その上司は

「お客さんから渡されたものの通りにしろ。余計な事はするな」と言われ、煩悶の末高額なアルバイトを自ら辞したという話で、50年近くたった今、その話を思い出しまして、何故か結構熱い気持ちになりました。

その娘を好きになった理由は到底特定などできませんが、それに加えて更にこの時に感じた「へえ」がその気持ちを深めさせ「絶対何があってもこいつだけは守ってやろう」と顔を上気させた記憶があります。

「昔は二十歳そこそこでも、そして貧しくてもサムライな娘がいたんだなあ」

ととても懐かしい気持ちになりました。

当然今もいるのでしょうが、5年程前に話をした高校生アルバイトの女の子一人を除いては、此処5年程そういった方に、久しくお目にかかっておりません。

Main aim of tracing work is not to trace merely but to check for mistake finding out, also I think She said.

2022/10/30-2

(オマケの英語教室 Manzai performance?)



面白い仕草や冗談ばかり言っている人の事を

He is a comedian

「奴はコメディアンだ」

と外国人が言うのを何度か耳にしましたが、何かちょっと違和感を覚えました。

多分自分は「お笑い」「掛け合い漫才」「ボケと突っ込み」みたいなものを無意識に頭に描いたからだと思います。

じゃあ、それを英語に言い換えるとなんといえればいいのか？

是には困ってしまいました。

譬えるものが見つからないからです。

先ず、comedian の元は comedy です。和訳は喜劇。反対語は tragedy で悲劇。

この一対和訳のセットは恐らく「悲喜こもごも」から割り当てられているような気がしますと推測するのも、自分の記憶によれば、我が国ではどんなに悲惨な事がらに対しても「悲劇」という謂い方はしていなかったような気がするからです。「●●の悲劇」という謂い方はテレビのワイド番組が始まって以降の様な気がします。

つまり古来我が国では喜劇とか悲劇とかいった自分の感覚で言えば「かなり御大層な」概念がなかったような気がするわけです。

なので、comedy とか喜劇とか耳にすると「余りに概念が大き過ぎ」て「お笑い」とか「掛け合い」「ボケと突っ込み」みたいなものが取り零されてしまっているような気がして違和感を覚えるのかもしれませんが。

(いつもはもっと大らかにと言っているのに対し今回ばかりは英語の方があまりにも漠とし過ぎている気がします (too much broad, I feel))

しかしこのニュアンスの差をどう英語で伝えればいいのか？

今のところその解はみつかっておりません。

それでやむなく現時点では、是を一纏めにして Manzai performance と訳しております。

それにしてもその先、更に個別「お笑い」「掛け合い」「ボケと突っ込み」にまでなるともう完全に途方に暮れてしまっております。それこそ「適格適語」の英訳。

(追記)

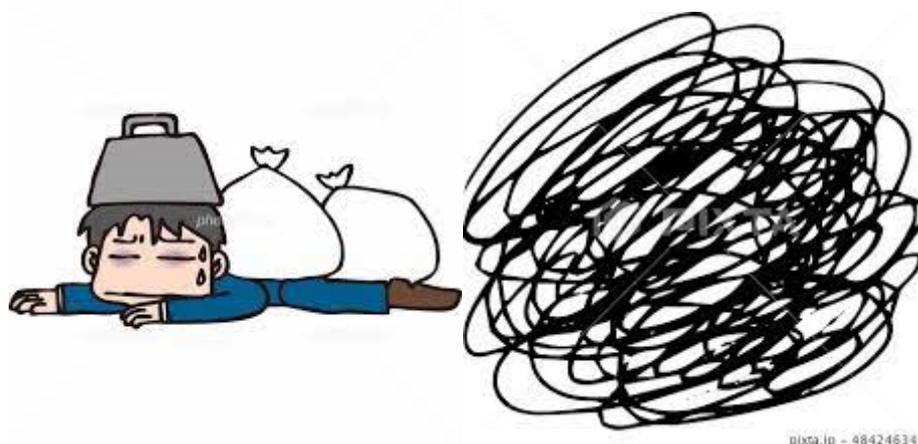
「悲劇=tragedy」などと言う珍しい英単語を何故知っていたかと言えば、学生の頃に読んだ太宰治の小説の中で「その名詞が悲劇を感じさせるものか喜劇っぽいものかをフランス語の男性名詞、女性名詞みたいにつけてみる遊び」の件(くだり)があり「その際喜劇名詞をコメ (comedy から) 悲劇名詞をトラ(tragedy から)と名付ける事にしよう」としていたのをおぼえていたからです。

そんな eventual な事でもなければ、到底こんな英単語、知る由もありませんでした。

逆に言えば何かのイベントや印象、感想を絡めて覚えると結構学習が捗る様な気も致しております。

2022/10/31-5

(オマケの英語教室 melancholia)



うつ病って英語で melancholia と言うらしいのですが、聞いた感じ、どうもイマイチリアリティが感じられません。学名らしいのですが、まるで実感がわいてこなし、かけはなれている気がします。

恐らくこの語の音韻の中に濁音が一つも含まれていないからだと思います。

自分が経験したうつ病から得たイメージは濁音だらけのぐちゃぐちゃ、ぎゅうぎゅうだったからです。後、破裂音のばんばん。要するにフラットな清音ではなかったわけです。

なので、うつ病を自分が英訳するとすれば

Mind pressed down mood

とか

Jammed mind mode

とかの息苦しさや微熱を帯びた鬱陶しく、暑苦しい感じの表現になりそうです。

勿論医学用語ではありません。ドラッグストアの特売対象にしてもよさそうな医薬部外品みたいなもんです。

いつもながら、悪しからず。

2022/11/2-2

(オマケの英語教室 covered firing? Is it true?)



焚火と言われたら直ぐに思い浮かべるのは何と言っても子供の頃よくやった、焼き芋を焼く為の落ち葉焚きです。神社の境内とか友達の家裏庭で秋が深まってくるとよくやりました。

では本書お題の中にもある、その「焚火」を英語で何と言うか？

当然そんな単語、知る由もありません。

が、諦める気もしません。

それで何とか訳したのが

Firing covered by dry leaves

(落ち葉で覆われた火 (扱い))

或いは

Dry leaves covering fire

(枯れ葉が覆った火)

でした。

そして2案のうち、第一案を短く

Covered firing

としたのが、表題です。

是は自分の子供の頃の思い出が強すぎるせいか「焚火」の訳と言うより「落ち葉焚き」の訳になってしまっている、の感是在り、的的外れな訳である事は既に気づいておりますが、致し方ございません(焚火には落ち葉だけじゃなくて薪とか木の枝とかもありますのでその場合は cover より put を使う方が的確でしょうから)

しかし、一方、そこ迄いうならいっそのこと開き直って表題を

Fire for smoked potato (cooking)

か

Fire for potato smoking

にしちゃった方が良かったかもしれません。
今の子供達に昔の子供の遊びを知ってもらう為には。

2022/11/ 2 -5

(オマケの英語教室 “Katagaki” is Rank status mark?)



さて、英語で肩書を何というのか？

マタマタ辞書なしの推理ごっこです。

先ず肩書を直訳すると「written on shoulder」となりますが、いくら何でもそりゃないでしょう。

では「肩書」と言う日本語から生まれるイメージにはどんなものがありますでしょうか？

よく耳にするのは先ず

Status

次には

Level

Rank

Mark

位でしょうか。

後、

Class

とかも。

このうち level はどちらかと言うと能力を表している様なので外します。

残ったのは、status rank class mark。

で、それらを取っ替え、引っ替え組み合わせてみますと

Rank status mark

Class status mark

がいいような気がします。

因みに status は日本語で使う場合の所謂「ステータス」ではなくて、此処では「現在進行中の工程」位の意味でつかっております。

宅配便で運ばれる注文品の現在移動状況の事を「現在のステータス」とか出る場合がありますので、そう解釈致しました。

Mark は emblem とかにしようかとも思ったのですが、いかんせん大げさ過ぎる気がして外しました。いくら何でもそこ迄御大層でもなかろう、と。

再び因みにですが、emblem は紋章とか記章とか言う意味です。

例えばBMW とか Benz の emblem は皆さまご存じの例のあれで御座います。

Mark は当然ながら「御（お又はみ）しるし」で御座います。

現代日本語での「マーク」は酷く軽い感じが致しますが、これを漢字で書き表しますと「御印（みいん、ごいん）」となり結構、格調が高い様で御座います。

2022/11/4-2

(オマケの英語教室 depending on)



「家族帯同」者、例えば外国人従業員の奥さんやお子さんの事を出入国在留庁、略して「入管」英語では dependant と言います。奥さんやお子さんの在留カードにもそう記載されております。

Dependant は depend on 「寄りかかる、頼る」と言う英語の派生語ですが、それを此処で記すと赤の波線が下について「そんな言葉はない」と意思表示されます。恐らく造語に近いのでしょう。

他には belongings が belong to 「に、属する」の派生語で「遺品」の意味に使われております。

それは兎も角として本日のお題の元は「流れに身を任す」を英語でなんというか、です。

今日も又当たるも八卦、当たらぬも八卦なのですが、自分はこう訳してみました。

曰く

Will have depending on a flow.

Flow はフローチャートなんかでお馴染みの「流れ」を表す言葉です。専門的な和訳は「遷移図」となります。

「遷移」の「遷」は「遷都」に使われております「遷」で、中学の歴史で「しがらみ無くし(794)て平安京」の語呂合わせで教わった 794 年の京都平安京遷都なんかのそれに出てくる奴です。

此処で言う「しがらみ」とは、その前の都、奈良平城京で行われていて、後にその影響力が看過できない程に迄なった「僧侶支配」を指していた記憶があります。

他には今某国営放送局制作の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」で話題になっている源頼朝の鎌倉幕府創建年号の覚え方として「いい国(1192)作ろう、鎌倉幕府」とかもありましたっけ。

尚、写真は美空ひばりの「川の流れに身をまかせ」の歌詞を含む「川の流れのように」の

CD ジャケットを拝借させて戴いております。

第12集

2022/11/6-2

(オマケの英語教室 magic magical magnet)



「魔力」を英語で何と言うか？

是はもう magical power しか思いつきません。

因みに magic は魔法、手品と言う名詞で、magical は魔法の、魔法みたいな、魔法みたいなに魅力的な、と言った意味の形容詞です。

そういえば「魔法」で思い出すのは「マハリクマハーリタ、ヤンバラヤンヤンヤン」で昭和生まれの方にはお馴染みの「魔法使いサリー」「サリー、サリー、サリーちゃん」です。

サリーちゃんて有名になった「魔法使い」は英語で wizard か witch です。

でも witch はどちらかと言うと鷲鼻で鼻先のとがった鬼婆的イメージが強いので「ポチャカワ」のサリーちゃんとはイメージが合いません。とすればサリーちゃんの場合はもう片方の wizard になりそうですが、自分はそれよりも見た感じから little magical lady 又は magical princess の方が英訳としては妥当だと思います。

処で話は全く変わりますが、magic magical の仲間として magnet (磁石) も其れに入るような気がします。

先ず mag という語幹が一緒です。

それに共通イメージとして (魅力で)「吸い寄せる、吸いつける、引き寄せる」と言う感じがあるからです。

では net は何かと言えば言わずと知れた「ネット、網 (あみ、もう)」です。

つまり magnet は「吸い寄せる網」「網で吸い寄せる物」となる訳です。

Magnet means net for things coming closer by vacuuming power

みたいな感じです。

商売困難なこの時期、自分も魔法が使えるとかなり助かるんですが、ま、あり得ないでしょう。なんせフツの爺さんですから。

でも、やり様によっては magnet 作用（効果）は作り出せるかもしれませんが、努力のレベルによりケリですが。

2022/11/6-4

(オマケの英語教室 I'll manage it)



表題の I'll manage it で「俺が何とかするよ（私がなんとかするわ）」
となります。

他の記事でもう何度かこの件については書いていますので「またかよ（又なの）」とおっしゃられる方もいらっしゃるとは存じますが、ご容赦の程、よろしくお願い申し上げます。何しろ英語に関しては持ちネタのストックがそれほどございませんので。

我が国で management とか manager と言いますとめっちゃくちゃ印象が悪い場合が多いです。其れは邦訳が「管理」とか「管理者」であるからでしょう。

中間管理職は上と下に気を使って板挟みになり、下は上を煙たく思う。

これが一般的な心象風景。お互いに苦手意識だけ「共有」と言うシャレにならない状況。

しかし英語の原義は「いざと言う時に何とかする事」「何とかする人」なのです。

だから表題の訳は

「俺が管理するよ」ではなく「俺が何とかするよ」なのです。

全然器の大きさが違う行為や人物像なのです。

是を一言でいえば「親分肌」とか「親分」と訳せるのです。

だから英語で上司の事を Boss（ボス、親分）と言うのです。

それにしても、一体何処からまるで正反対の邦訳になってしまったのか？

そんなことを調べてもしかたありませんが、これは世紀の「大誤訳」の一つであることは毎違いないと思っております。

もし是が意図的にされていたとしたら、その意図は「上役階層の責任逃れ」以外の何物でもない気が致します。

2022/11/7

(オマケの英語教室 circular logic)



お題の circular logic は凡そですが「堂々巡り」が一番近い意味です。

と言うか自分は「堂々巡り」を語る時にはこの語を充てております。

では、こういった場合に「堂々巡り」等と言う英訳するに直ぐには出てきそうもないこう言った言葉を使っているのかと申せば、嘗て自分が12年間うつ病によって「囚われの身」になっていた時の話を外国人にする場合に使っております（当然邦人には英語ではなく邦語の「堂々巡り」を使って話をしております）

Logic は既に皆様ご存じの「論理」とか邦語カタカナの「ロジック」でお馴染みなので今回の話題からは外します。

では circular はどういう意味（イメージ）（注：以下「意味」と書きましたら「イメージ」と言う語を付帯するものとして表記は割愛致します）なのか？

是はズバリ「円（円弧）」がその元になっている circle からの派生語です。

circle（サークル）は、よく「大学のサークルで」とかで使いますが、この場合の「大学のサークル」は「クラブ」の意味と同義で使われております。

しかし元々の意味は「円陣」です。或いは「車座（対面方式）」

同じく circle の派生語に cycle（サイクル）があります。これは「回転 円 運動」を表します。

Bicycle と書けば Bi=2、cycle=回転円運動と併せて2輪車、つまり「自転車」を意味します。

Cyclic と書けば cycle=回転円（交互）運動の形容詞形で「このボタン、サイクリックなの」と言う様にボタンを押すたびに on/level 1/level 2/level 3/off/on/level 1~が繰り返される操作仕様を指します。

他に circle の派生語としては circulation/circulator があります。意味としては「換気」「換気扇」です。是は「空気交換（循環）の連続運動」からきております。

つまり circle には「円」の他に「循環」という意味もあるのです。

この「循環」がいい方に働けば所謂 eco system (エコシステム) になり、悪い方に働けばいつまで経っても同じ事を繰り返してそこから抜け出せず、却って深みに嵌っていく「堂々巡り」の「悪循環」になる訳です。

なので、うつ病経験者の自分は circular logic をうつ病の特徴的な症状である「堂々巡り(的思考状態)」の「悪循環」の当て語として、この語を使っている訳です。

以下は余談となりますが、先述の eco の文字の中の「c」を「g」に差し替えますと eco が ego になります。

Ego そのものは単に「己、自分、我」と言う意味ですので、特にいいも悪いもないのですが、ego の派生語である egoism となった場合には「自己中(自分中心、自分の都合最優先を周りに強いる。自分はそうされて当然の人間である、という思考法)」をイメージさせる様な明らかに悪い意味で使われております。

これは今後の地球と人間の行方を占う上でも重要な岐路を暗示している様に思えます。

即ち

C 方向に行けば eco cyclic(circular, circulation) mode となり地球と人が共生可能になりますが、

G 方向に行けば egoism cyclic(circular, circulation) mode に入ってしまう存立不可能(分断、対立、争い)な事態に陥ってしまう。

気候変動、大規模風水、熱波災害、コロナ禍、食糧危機、格差、分断、対立、ポピュリズム、戦争、等昨今の混乱を「見るにつけ」ではなく「接し、体験し、その渦中に入り込むにつけ」我々は今、大変な岐路に立たされているのだという事を他人事ではなく将に自分事としてひしひしと実感しております。

Stop the egoism cycle, Set the ECO cycle for our future with this planet.

注: set=settle: settle (纏め、解決する)には「焦らず落ち着いてゆっくり、即ちじっくり」と言うニュアンスがあります。しかし語音としては幾分インパクトに欠けますので、敢えて強めの set を使いました。

2022/11/8-2

(オマケの英語教室 fire fat)



英語で fire(fired)は

日本語の

「火事だ！」

の場面でも

「クビだ！」

の場面にも

大砲を「撃て！」

のシーンでも同じ一語で使えます。

又英語の fat も

日本語の

「デブ」

「脂肪」

「太い」

としても同じく同じ一語だけであれこれ使えます。

言葉は同じでむしろ周りの状況の方が変わっているだけなのです。

だから色々な状況変化に対応しやすいのが英語、それを事細かに言語差異化したのが日本語。

以上を踏まえますと、この2例だけ取ってみても英語2に対して日本語は6にそれぞれ全く別の形(言葉)として独立しており、外国人が覚えるには相当大変です。

逆に申せば英語はそれだけ使いまわしが容易なのです。

以前にも何度か申し上げましたが、我々日本人は英語を学ぶにせよ、外国人に「日本語で話せ」と強いるにせよ、その前にこの「言葉に対する国民性、民族性による発想法や感じ方、考え方の違い」をちゃんと理解した上で事を興す必要がある様に「今回も又」そう思った次第で御座います。

2022/11/9-2

(オマケの英語教室 difficult words for translating)



英訳するのに困ってしまう日本語と言うのがいくつかあります。

今回の本編お題の「習い」もそうです。

まず日本語の特定が既に難しい気がします。

「世の習い」と言って連想される言葉は、例えば

「世の常」即ち「常態」「常識」の類がまず。

次に「習」の字に重きを置いて

手本、手習いとかが浮かんできます。

しかし、今回の場合、自分が意図したように、その両方を含んでいる場合にはどの語を充てればいいのか？まず日本語レベルから、ハタと悩んでしまいます。

で、ふと思いついたのが新入学や新入社員時代のガイダンスと言う言葉でした。

Guidance は動詞 guide (案内する) の名詞形です。

Navigate や navigation と異なるのはナビがより具体的な個別案内に対してガイドの方はもっと広い範囲を指す事の様な気がしています。

なので、今回は guide の名詞形 guidance を使って本編の英語題名を

New guidance for this world coming soon from now

とさせて戴きました

(英語題名につきましては Amazon kindle 内の海外向けにのみ使用されているようで、amazon 側から設定は求められますが国内向け kindle store では表示されない様です)

実は他にも依然笑わした際に使った題名の中に「地球」と言うのがありましたが、この役にも大変苦勞致しました。

辞書を引けば the Earth がポンと出てきますが、どうもこれだと自分の感覚では「土塊(つちくれ)」を連想してしまいます。

じゃ形容詞形 global の元になっている globe ではどうかとやってみましたが、これまたペコペコ感あふれる「地球儀」を連想してしまいました。

次には this world も当ててみましたが、是だと人間界中心過ぎて他の生き物たちが切り捨てられているような気がして止めました。

そこで最後に宛がったのが this planet (この星) という言葉でした。

是なら全体スケールが感じられますし「地球とて数多ある中の一つの星にしか過ぎない。決して特別な存在ではないので、無茶を繰り返すと壊れてしまうぞ」という抑えや他の星との位置関係、それに地球も天然自然の法則下の内数の僕(しもべ)でしかないし地球は人間だけのものでもない、人間を含めた様々な生物が同居している処だ、という事も何となく想起されましたので、結局是を当てがいました。

と毎日ああでもない、こうでもないといろいろ悪戦苦闘している訳では御座いますが、恐らく他の方が傍からみたら「この爺さん、何を夜中に一人で悶えまくってんだらう。かなり不気味と言うか、キモイでえ、可成り」という事になるのがオチだと心得ては、おりますんで。

2022/11/9-4

(オマケの英語教室 running and make it running)



本編の題名を通常我が国に流布している諺であれば「金は天下の回りもの」とする処を敢えて「金は天下に回すもの」と致しました。

結論は「お金は棚ボタ的に舞い込んで来るものではなく、自分みずから天下に回さないと自分の懐には入ってきませんよ」という事です。「お金は使わなければ入ってこない」と言った古代ギリシャの哲学者の意見と同じとなりました。

そのココロは「生産者は同時に消費者でもあるので、生産者が消費者になった場合の私生活に於いては不景気な時程お金を使って天下に回さないと景気は回復しない。又消費者は同時に生産者でもありますので、給料を上げたかったら解雇や減給、遅配を避けるために値上げをしなくてはならない。と同時に経営者は値上げ分で得た利益の中から正当に従業員にその分の一部を還元しなくてはならない。詰り各々が「勇気や意思を持って出費、即ち天下にお金を回さないと景気は一向に良くなりならず、お金が入ってこないの、結果実入りも増えない。だからまず各々が各々の立場で自ら積極的にお金を使って天下を回そうと言う、少なくとも見識と意思（できれば意志）を持たないといけないのではなかろうか」という問いかけでもありました。実はこの概念こそが「循環」と言える「経済の eco (=健全な) サイクル」でもあります。

前回の言を借りれば、上記認識に至る第一歩として、他国に遥か遅れた「金銭、金融教育（所謂、国民の金融リテラシー向上）をちゃんとしないとイケませんよ」という事でもあります。

で、上記二つの諺と自前書直し諺もどきをそれぞれ英語で言うとうどうなるか？

今迄にも何度か申し上げましたが、以下は敢えて中学レベルの知識のみで書いておりますことをご承知おきくださいませ。

●「金は天下の回りもの」

Money is what`s the running in this world (or under the Heaven)

● 「金は天下に回すもの」

Money is what we make it running in this world (or under the Heaven)

後者には we という主格意思（志）者をいれ、使役動詞（使役とは～させるという意味です）make を使い、目的格として it 即ち「お金」を入れました。

因みに what は疑問詞ではなく、かの有名な面白ろ命名の「処のもの」である「なんとか代名詞」で御座います。

（注）

なんとか代名詞の「なんとか」は確かに中学時代習ったのですが、完璧に忘れてしまいましたので「なんとか」と致しました。悪しからず。

（注2）

写真は頑張ろうとする人の背中を押す応援団の意味で御座います。

Photo is the cheering up team which push your back.

2022/11/10-2

(オマケの英語教室 survival)



Survival は邦語で「生き残り」とかカタカナで「サバイバル」と訳されます。

起業などで「サバイバル戦略」と言えば生存シェア何位までに留まれるかで業界で生き残れるか否かが決まりますので、何としてでもその範囲内にとどまる為の戦略をそう呼んだり致しておりました。昔いて会社の企画部では。

他には vital (バイタル)「生命の」とか revival (リバイバル)「復活」とかがございます。

処が我が国では上記の場合では vi を「バイ」と発音しますが、何故か vitamin や virus を「バイタミン」「バイラス」と発音せずに「ビタミン」「ビールス (ウィルス)」と発音いたしております。

それはさて置き、survival の内 sur は「超」「の上」「の表面」を表しております。又 val は各語の動詞形である revive にせよ survive にせよ語幹 vive の名詞形で「生命」を表しております。

なので、survival の原義は「命の上 (に出る)」とか「命を超えて」とかになります。其れではイマイチ意味がよく分かりません。

となるといつものようにその反語を考えてみるしかなくなります。

そこで考えましたのが「命の上 (に出る)」「命を超えて」ではなく反語を加えて「命の (危険が迫る) その上 (に出る)」「命の (危険が迫る) それを超えて」「生き残る」その名詞形が「生き残り」であるのではなかろうかと、今回は推測いたしました。

Survival is the way of breaking through critical situations.

(サバイバルとは危機的状況を切り抜ける術の事でございます)

2022/11/10-5

(オマケの英語教室 this way, that way)



日本語で「あの手この手」は「あの手この手（を使って）」ですが、英語でそれを何と
言うのか、実は自分は知りません。

しかし、ジェスチャーを付けながら

This way (あっち行ってホイ、ポーズ) that way (こっち行ってホイ、ポーズ)

And way, way, way taking でも

This hand using (右腕ヨイショポーズ) another hand using (左腕ヨイショポーズ)

Next, next, next でも通じる気がします。

要するに個々の主役は言葉ではなくジェスチャーの方です。

又、way, way, way, way とか next, next, next とか外人さんには耳なれない表現でしょうが、
あまり見たことのない珍しい(ジェスチャーも含めた)表現なので却って面白がられるかも
しれません。

語学がコミュニケーションと、更にはパフォーマンスのお披露目舞台 (ちょっとした
private conte show) にもなるという認識になった途端、其れこそあの手この手が使えるよ
うになりますので、ぜひ皆さまお試しく下さいませ。

(注) 特に上記の way, way, way, way は昔流行った小松まさおの電線音頭「おとととと
と」に掛けて4テンポ取ることをお勧めいたします。(その世代の方は)

2022/11/11-2

(オマケの英語教室 listen)



私の声（話）聞こえ「て」る？は

Can you hear me?

聞こえる？は

Do you hear me?

因みに外国人さんに

Can you speak Japanese language?

は失礼で

Do you speak Japanese language?

と言った方が良いでしょうと、中学の授業で教わりました。

理由は can を使うと「話す能力がありますか」となり大変不躰な印象を相手に与えるので

「話しますか」にあたる do を使った方が良いでしょうという事でした。

話を元に戻します。

上述の hear と同時に教わるのが listen です。

Listen to me

と言えば例えば「学生注目。傾聴!!」とかに使われます。

Hear より意識的に聞く事。それが耳を傾ける「傾聴」です。

一方この listen の語末尾にある接尾辞「sten」が付いているほかの語に fasten があります。

飛行機などに乗って離陸時、着陸時に display board に (Please) Fasten your seat belt 「ベルトをお締め下さい」と出るあれです。

Listen と fasten、何か共通するものを感じます。

其れは何か？

「しっかり」と言う感じではないでしょうか。

「しっかり耳を傾けるのが傾聴」で listen

「しっかりベルトを締める」のが fasten

もう一度、因みに「しっかりチャックを締める」ものを fastener「ファスナー」と言っております。

後、或一点を見る、目を向けるのが Look

目を凝らしてみるのが watch

見る事全般、或いは見えるが see

と使い分けているようです。

最後の see は他に understand とか know の代わりにも使われます。

You, see? とか。

これは見えているか否かを「判断」と解釈して「分かる？」の understand や「知ってる？」の know とほぼ同義に使われているようです。詳しくはよく分かりませんが。

2022/11/12-2

(オマケの英語教室 It`s enough)

上等

pixta.jp - 16204348

其れで上等」「上等じゃねえか」の「上等」を英語でなんて言うか。

元々この「上等」は high quality や high level の意味ではなく、喧嘩のシーンで売られた喧嘩を買う場合に使う言葉です。要するに「開き直ってケツをまくる」様な感じ。「いっちょ、やっつろうじゃねえかよ」の方が的確かもしれません。

昔、首と腰の同時手術をした後、首回りと肩のあたりが張って仕方がないので、バス待ちをしている間、張った首や肩を解す為にグルグル回していた処、バス停の前を通りかかったチンピラ 893 に因縁を付けられたのですが、多分その時自分の虫の居所が悪かったのか、到底生還できまいと思っていた手術を思いがけず生き延びてしまい、死に損ねて気分が、特攻隊帰りのヤケクソ、ヤサクレみたいなものになっていたせいなのか、その辺はよく分かりませんが、初めは黙って聞いておったのですが、その内だんだん腹が立ってきて、とうとう仕舞には「おい、小僧。上等じゃねえか。いっちょ、もんだろ、やないけえ」とそのちんぴら君を公道上で追いかけ回し、ホームセンターの前で追い詰めた後、完全なその筋モードになり切ったお芝居で「俺を〇〇組竜神会の若頭と知っての事か」と申した処、思いがけぬ展開に相手はビビりまくって「いえ、自分が893じゃなくて自分の親戚が893を営業しているだけで御座いますんで」と半ベソ状態になり、只ひたすらに平謝る、と言う顛末があったことを思い出しました。

その後「今の、は芝居だ。本当はフツの堅気の衆だ。心配すんな」

と正直に正体を明かし「首、肩のグルグル回しは術後の凝りほぐしの為だ」と首の執刀後の縫合抜糸跡を嘘ではない事の証左として見せました。すると相手は

「あなた様は、御歳は御幾つになりますんで？」

と訊くので実年齢を言うと

「え、そのお歳なんですか？でもその歳の爺さんはそんなことしないでしょ、フツー。又ハッターこいてんじゃないんですか？」

と言うので運転免許を持っていない自分は健康保険証の生年月日を見せたのですが、相手は少し押し黙って、その後

「自分は今年 25 になりますが、もしあなた様が自分のオヤジ代わりでもなってくれていたら、自分はこうはならず済んだかもしれません。全く惜しい事を致しました」

と何やら妙な展開になりまして、その後自分の自宅で飲む約束をして別れたのでございます。

当然、来はしませんでした。

余談が長くなりましたが、

では改めまして本題の、英語で「上等だ」を何と言うか？ですが、その時の現場感覚からすると

Ok, good. It`s quite enough. Come on kid!!

てな、処でしょうかね。

2022/11/12-4

12th November 2022

(オマケの英語教室 in front of our restaurant today)



In front of our restaurant today on black sign board written below

“Namaste (means Hello in English, originally Nepalese)

Ukraine

Let`s get over beyond (this)Year line together!! “

(ちわ。ウクライナさん。一緒に年の瀬 (なんとか) 超えようぜ!!)

2022/11/14-2

(オマケの英語教室 It`s very troublesome for me)



商売を business

商売人又商人（あきんど）を business man 最近ではジェンダーフリーで business person
人生を human life

と訳しておりますが、どうもなんか合っていない様な気がしてなりません。いや、全然違うんじゃないかなあと。

Business というと、其れこそ「business like に」と言う言葉があるくらいですから「(金、や条件で) 割り切った」と言うのに対して、商売と言った時にはそれ以外の要素が付帯している様に思えますし、business person が男女を問わずスーツ姿であるのに対して商売人や商人は着物前掛けに雪駄迄は遡りませんが、それでも頭の中のイメージとしては T シャツ・ノーブレザー位にはなっております。

又人生を human life と訳すと、もうそこに浮かんでくるのは薬品、ハウスメーカーか大手保険会社の提唱するライフであって、もっと泥臭い地べたを這いつくばる様に山あり谷ありの混沌とした世界とはかけ離れているとしか思えないので、全く別物の感がして、日本人がもつニュアンスを含めた英訳をするのにかなり困っているのです。

しかしそれが未だ見つからないので、その語を訳す場面に出会う度に憂鬱な気分になっております。

それで最近では窮余の一策として

Business には busy matters

Busy matters は多忙のあくせく姿をイメージしてください)

Business person には merchant

(Merchant はシルクロードの隊商 (キャラバン、危険を冒して遠路はるばる、な交易商人) をイメージしてください)

Human life には。

さて、是だけはハタと困ってしまいました。なので、仕方なく今の処はブランクのまま

で御座います。

My life に対応して Human life と置き換えの呼応訳したんですが、やはりなんか違いますよね？何か。

2022/11/13-2

(オマケの英語教室 pitcher)



キャッチャーは catching するからキャッチャー

バッターは batting するからバッター

ピッチャーは pitching するからピッチャー

ですが、キャッチャーとバッターは何となく元の行為なりブツなりを想像できますが、ピッチャーの語幹である pitch に関しては直ぐに原義が思い浮かびませんでした。

そこでまたぞろ連想ゲームです。

Pitch ピッチに関して自分が耳にした事があるのは

直近ではエレベーターピッチ。

是は、起業家が投資家の資金提供を得るのに、投資家がビルの上階から一階に下りる迄の誰にも邪魔されないエレベーターという密室空間内で生れる約30秒の間にストーリー展開して投資家の心を掴むことが出来るか否かがかかったその間の時空間を指します。

会社員時代には「もっと仕事のピッチを上げろよ」という上司のハツパ。

この場合のピッチはサイクルピッチ、つまりそのスピードやペースを上げる事を意味しておりました。

また、同じ会社員時代でも企画業務とは全く異なった印刷部門の工場駐在もしたことがありましたので、其処で使われていた時のピッチは「印刷文字の間隔」を意味しておりました。

「そのピッチ、もうちょっと広げた方がいいんじゃないの？」

とかです。

ではこれらに共通するイメージは何か？

スピード、ペース、間隔、そして一種のテンポ？

そういえば昔オールスターゲームで「江夏投手、ピッチが上がって参りました。実にテンポよく投げますねえ」と興奮気味になったアナウンサーの解説を思い出しました。

実はこの時のオールスターゲームで江夏豊投手は規定の三回を投げて各回3者連続三振、計連続9奪三振の大偉業を達成したのです。

基、余談はさておき、

となると pitch とは「一定周期間隔でスピード感を（ペースを）維持してテンポよく行う動作、行為」という事になりそうです。

そしてそれをするのが野球では pitcher ピッチャー。

話は変わりますが、我が国では batter（ビャッター）の事を「バッター」と発音していますが、是を外国人が耳にすると butter（バター）に聞こえてしまいます。

因みに米語で butter の語幹である butt は俗語で何と「ケツ、タバコの吸い「口」」を指します。

隣に人がいるとは知らずにこの発音をすると、たまたま横に居てそれを耳にした相手が「ケツ野郎」とか「吸い「殻」野郎」と自分の陰口をたたいているのだと勘違いして発音者も「テメ、コノヤロ、舐め腐りやがって」と突如脇から胸倉を締め上げられたりする事も考えられますので周辺状況を確認した上で話をした方が良いかもしれませんね。

2022/11/14-4

(オマケの英語教室 24hours full open store)



「テメ、この野郎、さんざんパラ俺を利用しやがって」

と言う場合の「利用する」を英語で何と言うか？

と言われても実は「利用する」と言うジャストな英単語を知りません。

ので、今日も又例の連想ゲーム開始です。

先ず「利用する」で思いついたのが「便利グッズ扱い」

其れで思いついたのが

「アッシー君」「メッシー君」「コンビニ」

しかし「アッシー君」と「メッシー君」は世代によって知っている人と知らない人が良そうなので、此処は無難に「コンビニ」をチョイス。

しかし外国で「コンビニ」即ち「コンビニエンスストア」と言って通じるものなのか？

が、海外経験の少ない自分にはわかりませんでしたので、此処は仕方なくやや説明口調を含めたものを考え出しました。

曰く

24 hours full open store

で、冒頭のべらんめえ口調分を英訳いたしますと

「Hey, you guy, you too much over have treated me as a 24 hours full open store!!」

(直訳：テメ、この野郎、過分気味に私を 24 時間営業のお店扱いしやがって)

となりました。

相当いい加減ですよ。

2022/11/15-4

(オマケの英語教室 amazon)



「アマゾンは何で amazon と付けたのか？」

どうして飛んでも八分なものとか思えない南米のアマゾン川とかアマゾネス（女戦士）が出てくるのか？

それが結構疑問でした。人さまからすればどうでもいいような疑問ですが。

で、今朝、アマゾンのロゴを見ていてふとある事に気付きました。

それは amazon の文字ロゴの下にオレンジ色の行先表示みたいな矢印がある事に。

その矢印の出発地の上と到着地の上のアルファベットを見ると from a to Z になっている事にも気づかされました。

でこの amazon の文字を分解してみると

a to Z

ma

on

となりました。

是を例によって案分してみますと

Ma + a to Z + on

つまり

我々（ma）は A から Z 迄あらゆるものを on and on(インターネットで提供)し続ける会社です。

と読めました。

I noticed amazon logo consisting of “from a to Z”+ma+on, 3 blocks.

Then I replaced the ordering of these blocks.

Below

Ma+a Z+on

It means

Ma(we)(offer) from a to Z(goods)on (and on, on internet site).

Maybe, I guess.

今日も又、当たるも八卦、当たらずも八卦、で御座います。

Today it hits the point or not, don` t know mode, today also I have, sorry.

Thank you.

2022/11/15-2-2

(オマケの英語教室 my historical report)



日経新聞最終面のコラム記事「私の履歴書」の「私の」は兎も角、英語で「履歴書」を何と言うか？

勿論日経新聞の英語版をググれば済むことですが、今日も今日とて又 let`s 推理ごっこ (推理ごっこしませう)、です。

「履歴」とは「個人の雑駁な歴史」の事ですから思い浮かぶのはまず歴史の英単語 history でしょう。

次に「履歴書」の「書」を何と訳すかと申せば書 book とか書き物 writings でなく、採用側に提出する一種のレポート report みたいなものでしょうから、此処は矢張り report をチョイスしました。

で、是を組み合わせると Report of my history となりますが、of と my 二つ所有格っぽいものの重なりが文章構造的に五月蠅く感じられましたので以下と致しました、

My historical report

Historical は history の形容詞形で御座います。

なので、邦訳は「私の歴史に関する報告書」となった次第で御座いました。

2022/11/17-2

(オマケの英語教室 acoustic song)



「爺の世去節」を英語で何と言うか？本編の題名の核です。

「爺の、は単純に「Old man`s」で済ませておきます。

では「世去れ」と「節」は？

このうち「世去れ」の方が自分には簡単でした。むしろ困ったのは「節」の方です。

では、先ず「世去れ」の方から。

自ら世を去るなら「leaving away from this world」(能動形動詞現在分詞的形容詞)ですし

「何らかの事情で自分以外の何かから」渋々この世を去らされたのであれば「left away from this world」(受け身、状态的形容詞)となりますので。

しかし「節」には参りました。Song でもいいのかもしれませんが、どうも有名歌手やアイドル歌手が歌っている華やかな姿が浮かんでしまい、イマイチ「物悲しいさ」に欠けているような気がしたからです。

で、その後の思考過程の経緯は矢鱈長いので紙面では端折りますが、上記の「華やかさ」を演出している「伴奏」を「取り敢えず省いた」という事にして自分は以下のような訳語を充てる事に致しました。

即ち

「節」 = acoustic song

上記の「アコースティック」は「アコースティックギター」なんかで皆さまご存知の「エレキギターではない」「人工的増幅の無い自然な儘の音色の」位の意味です。

なので、「爺の世去節にて候」を訳すと

Acoustic song by old man`s who noticed the time when he will be left away from this world,
it is

となりました。いよいよ我が身ですかね。是。

2022/11/19-2

(オマケの英語教室 performance)



VectorStock®
vectorstock.com/3631721

Performance とは即ち Per form 入れ物（外枠、外見、形）に対して中身がどれだけそれを裏付けているかという一文の名詞形だと思われます。

コストパフォーマンス＝費用対効果

この場合費用が中身で効果が外見となります（或いは費用が外枠で効果がその中身（果実）だと言い換える事も出来ます）

又

パフォーマンス＝演技、アドリブ、芸

では saying 言ったこと（外見、前宣伝）に対して doing（中身、実力）がどの程度の裏付けを持っているか(actuality=actual base)

を念頭に置いての事だと推察しました。

なので、この performance という言葉は内外（うちそと）前後の落差比較の場面では、かなりの場合に使えるような気がしております。

例えば

Your behavior is very low performance from comparison with before saying vs. after doing ?

Which is true? Big boy!!

(お前、前宣伝と実際がエラ、違やうやん、け。あん?)

2022/11/20-2

(オマケの英語教室 fall onto)



本書題名の「スマホれば、今日も孤独の降りかかる」

この中原中也の「汚れちゃった悲しみに、今日も小雪の降りかかる」をパロった題名を何と英訳するか？が本日のお題です。

では先ず。

スマホ、即ちスマートフォンは外国ではあまり通用しません。ガラケーだろうがスマホだろうが外国では押しなべて mobile phone と言っております。

又、外国では我が国ではあまり使われていない onto 語り into の対語も状況に応じて結構お目にかかります。Onto は on + to だと思っただけであれば結構でしょう。

なので、into は in + to がくっついたものである事は容易に想像できますでしょう。

では以上の予備知識を持った上で、通して訳してみますと、

While texting mobile phone, Loneliness falls onto my mind today also.

「スマホれば」は通常なら If とか In the case of を使う手もあるのですが、警察の英語版案内に

While walking, no texting

「歩きスマホは止めましょう」

という標語がありましたので、そこから借用いたしました。

因みに while は「～している間」とか「～しながら」と訳します。

又ここに登場致しました texting を外国では mobile phone の画面を見る（読む）という単語に充てているようです。

恐らくガラケーより更に前の時代には映像が殆どなかったので文字読みを表す text の現在進行形が変じて動名詞になったものと思われまます。いうなればその時代の「名残」なのでしょう。

我が国でも我々爺さん世代は「テレビチャンネルを回す」と言うが如きです。

昔のテレビはロータリー式といってチャンネルノブをガチャガチャと回して切り替えるタ

イブだった事によるその「名残」と同様の現象で御座います。

電話も昔の黒電話（家据え置き固定電話器の事）の名残で「スマホのダイヤルを回す」とたまに言って若い人から「ナニソレ？」と質問され、赤っ恥をかいたりしております。

第13集

2022/11/21-2

(オマケの英語教室 mine)



♪猫踏んじやった♪ならぬ人の怒りや不興、こちらにとってはあまり好ましくない事項に触れてしまう事を我が国では俗に「地雷を踏む」と言います。

ではこの「地雷を踏む」の中の「地雷」を英語で何と言うか？

これは地雷、水雷等「機雷類先般」を mine (マイン) と言います。

(余談ですがこの採掘には飛んでもない量の電力がいるのだそうで、紙幣や硬貨の製造電力どころではないとのこと、でした)

最大手仮想通貨取り扱い業者 FTX の破綻が昨今紙面をにぎわしておりますが、この仮想通貨(暗号資産)を得ることを mining (マイニング) と言っております。

意味は「深掘する」とか「採掘する」とか「掘り起こす」とか、言うなれば「鉱山業」に関わる単語です。

地雷は元々その上に乗っかってスイッチが入った途端、その上に乗った人や物を「上や四方に飛び散らす」ものですから、下方向に向かう「深掘」「採掘」「掘り起こし」とは逆方向なので些か意外な気も致しましたが、事実英語圏で「地雷」は mine と申しております。

恐らく爆発後に地面に「大きな穴が開く」事からその名が付いたのではなかろうかと推測しております。

此の mine に関して今一つ意外な事がございました。

それは

It's mine!! (これワタシのものよ) と言う場合に出てくる mine

I my me mine 主格、所有格、目的格、などでお馴染みの何格と言うのかは忘れましたが、そのうんちゃら格であるところの mine です。

綴りも発音も全く同じ mine(マイン)です。

「地雷」と「私のもの」が同じ!!

是には驚きました。

「私のものって地雷なの？」かなり物騒な感じでしょう？

Mine is mine?

「私のものはわたしのものでしょ？ (違うの?)」

と採られると今度は喧嘩になりそうです。

いずれにせよ是では勘違いしたり誤解を招いたりし易いので

Mine is land mine ?

と一応「地面、地べた」に当たる land を付ける事に致しました。

しかし考えようによっては Mine is mine? は結構意味深で示唆に富んでいる様な気致します。

例えば

「私のもの (、私のものって取り立てて騒げば騒ぐほど) って地雷 (揉め事の種になり易い) ?」

の () の部分を補ってやるとお分り戴けませんでしょうか？

2022/11/22-2

(オマケの英語教室 sightseeing)



「遠足」って英語で何と言うのかわかりませんが「観光」は英語で sightseeing と言います。何故なら観光バスのドテツ腹に sightseeing (bus)と書いてあったからです。なので、辞書は引いておりません。というか辞書を引かずに済んでしまいました。

日本語の「観光」は「光景を観ずる」という意味で、特に「観ずる」は「観察」でも分かりますように「ある程度距離を置いて見る」或いは「その傍らで見る」というニュアンスが含まれております。

一方英語の sightseeing は sight 光景を seeing 単に「見る」という意味で、特に距離を置いて見るかどうか、その傍まで行って見るのかどうか迄は触れておりません。

こう言う処が外国人からすると「日本語の信じられないくらい細かい処」でもあります。

一方話は変わって「隠れ見する」「覗き見する」の英語は peep です。

昔、覗きで捕まった人間が「出っ歯の亀吉」だったことから覗き見犯の事を俗に「出歯亀」と称しておりますが、英語圏ではこの出歯亀に当たる言葉は peeping Tom です。「覗き屋トムさん」という事です。

何故「覗き見する」を peep (ピープ) と言うのか？それは知りませんが、我が国では北風は「ピープー」吹きます。

可成り強引ですが「覗き見なんてして捕まると北風がピープー吹くのが身に染みるような事になりますよ」と覚えればよいような気もしております。

“Ensoku” in Japanese language means Going to far place on foot. But recently in Japan almost parties use sightseeing bus no on foot.

2022/11/23-2

(オマケの英語教室 shocked)



「グサッ」「ドキッ」「ガーン」を英語で何と言うか？

是はもうたった一語(I`m か I got) shocked !!

是に尽きます。

そういえば外国語では我が国で多用される擬音、上記で申せば「グサッ」「ドキッ」「ガーン」等の擬音。是があまり使われていない気がします。

現に本店で外国人従業員相手に「是は世界共通 global standard やろう」との思いから「ここぞ」と言う時の communication-able killer performance (必殺技) で「ドキッ」とか「ガーン」とか擬音を使っても「ん？ 何一人でジタバタしよう、此のオッチャン。ようわからんわ、うちらには」と言う顔をされるのが関の山ですし。

何故こういった行き違いが起きるのかはよく分かりませんが、自分の勝手な推測では我が国で隆盛であり且つ国際的評価の高い「漫画文化」に接してきたか否かのせいの様な気がします。

江戸時代以前からこの擬音多用の傾向が我が国に於いて特筆的にあったのだとすると「漫画文化」ではなく「落語文化」のせいなのかもしれません。

よく分からないので「生き字引」ならぬ「生き恥を晒す」のも何なので、話はこの辺で止めておきます。ハイ。

It`s better to stop talking well-unknown matters, as a walking dictionary, no! as a walking shame, I think. OMG!!

Thank you.

2022/11/24-2

(オマケの英語教室 UFO guy)



「タコ助」を英語で何と言うか？

これは自分レベルの英語では超ド級に難しいです。

「バカ」について知っている単語と言えば fool on the hill の fool.

April fool の fool.

他には idiot、とか stupid くらいです。

「蛸」は octopus

「ハチャメチャ」は crazy とか mad 自作的には broken orchestra が面白いかな？と。

基。

では、そもそも「タコ助」のニュアンスはなんなのか？ですが、これまた自作的には UFO Guy てえなところでしょうか。Like a Unconfirmed Flying Object Guy 或いは Unconfirmed Flying object likely Guy とか。

で、だんだん面倒くさくなってきたので、此処は端折って簡単に

UFO guy 又は頭文字を取って UFOG 詰り霧に包まれたような確認困難野郎位にしておきます。

「今日も今日とていい加減」

おそまつ。

Today also easy going also..

Sorry everybody, everybody sorry.

Thank you.

2022/11/24-4

(オマケの英語教室 why)



自分は会話の中でこの語をよく使います。

日本語でも英語でも。

例えば日本語なら

「何?何?何?なんで?なんで?なんで?」

とか

「ナニソレ?なんでやねん?」

とかで、

英語なら

What? what? what? Why? Why? Why?

とか

What`s that? Why is it?

とかです。

他には

Why some it happened, don`t know the reason.

(なんでか、そうなった。理由はよう分らん)

とか。

Why とか What は、或いは「なんで?」とか「なに?」とかは国内外を問わず会話のスタートと良好なコミュニケーションづくりには絶対有効な切り出し文句です。

日本人はうるさく聞かれることを嫌う傾向がありますし相手に尋ねる事を失礼だと思いう向きがありますが、外国人は質問されると「あ、この人、自分に興味を持ってきている」と逆にたいそう喜ぶ傾向が顕著です。

という事で先ずは外国人にトライして練習して場数を踏んだ上で次に日本人向けに尋ね方

や TPO をアレンジしてからトライすると同国人同士の関係も良くなると思いますので、
ぜひぜひお試しくださいませ、why と what あと how でしょうかね。

It`s a strong weapon for making good communication by using nest words, why, what, how
in both languages, to English speakers first, to Japanese speakers next. It might be better
ordering, I think.

Please try them. Hope your success.

Thank you.

2022/11/25-2

(オマケの英語教室 tell)



「言う」の他に「告げる」「伝える」「教える」も tell を使っている様です。

例えば

I told her my love from Kamikaze-mind で「俺、思い切ってあの娘に告白したんだ」

(掲載フォトを回想シーンとした場合の状況説明です。私事ではありませんので)

Tell me, please で「ちょっと教えて」でしたし

Tell him, please で「あいつに伝えといて」でした。

なので、tell には「言う」の他に「告」「教」「伝」の意味があるようです。

翻って我が国の「伝」の文字は「人が云う（言う）」が文字の原義の様に思われます。

なので、自分のライフテーマ good & well communication の第一ステップが「伝」（伝える、伝わる）だとすると、その根底には先ず、書いて伝えるのではなく顔を突き合わせて「話して伝える」tell があるような気がしております。

お店の認知度アップの方策として何人かの方から謂われたのですが

「アンタは書いてる物より話している方がコント付きで断然オモシロいから You tube とか TikTok の方に出でなさいよ。その方が認知度上がるわよ」と言われるのですが言われる度に何度も固くお断り申し上げます。

理由は

「嫌だから」です。兎に角人前に出るのが恥を晒しているようで嫌なのです。

社長業も店には立たずに裏方の黒子仕事に徹しております。

あと、へんに顔を覚えられて観察の為の自由な表歩きに差し支えると困るからです。

自分の顔が街のあちこちに貼ってあるなんていう事態そのものが信じられません。選挙ポスター。

「わ、自分の事自分で、何でわざわざ窮屈にするのよ？よお分らん」

なので、写真にも殆ど写りませんし、書く物以外メディアにも出ないのです。鏡もほとん

ど見ませんから風呂場以外には鏡が一つもありません。手持ち鏡もゼロでございます。

(HPだけは商売上止む無く写真でページに出ました)

Wow!! Never can believe own photo attached on election poster!! Such a behavior is don't like for me. Tell-able? Noh!! Terrible!! is.

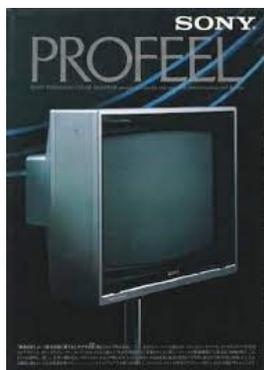
And "telephone" holds hidden meaning "tell by phone(sound) from tele-place" I guess now.

Is it true or not?

Thank you.

2022/11/26-2

(オマケの英語教室 still not yet)

The Sony logo is displayed in a bold, black, sans-serif font, tilted at an angle.The Panasonic logo is shown in a bold, blue, sans-serif font, tilted at an angle.

Result is still not come yet

でも

Result has still not come yet

でも

Result is(has)still not come out yet

でもいいのですが、いずれも「結果はまだよ」です。

語呂的には Result is still not come yet

が、一番いいので自分なら一番初めの文章をお勧めしますが。

ところでこの still not yet という idiom を略すと SNY となりますが、是って何となく SONY を連想しませんでしょうか。

この SONY の由来は sonic (音、音響) からきております。当時トランジスタラジオを開発し世界に売り込むにあたって考え出された社名なのだと聞きました。

因みに松下電器産業 (旧社名) も sonic(音響)製品を世界に売り込むために「汎」(全世界に広がる、拡げる、の意味、意図)を表す pana を sonic に冠して PANASONIC と付けたのだそうです。

いずれも完全な和製造語です。

ところで意外と知らていないのが、昔その SONY が発売した TV モニターシリーズ (正確には Video Monitor ですが)「Profeel (プロフィール)」シリーズが実は日本語で言う処の「プロフィール (個人の履歴)」英語の Profile (プロファイル) を指しているのではなく、Professional feeling を短縮したこれまた完全な和製造語だったという事です。

まあ、是は今を去る事 30 年前の TV 機器業界の話なのですが、事程左様に我が国では英語が氾濫している割に、実はその中身が誤解だらけである事が多いのを最近感じ出しております。

是は別に教養ぶって高い処からイヤミや責めを申しておるのではなく、英語にせよ日本語

にせよ、もっと言葉の原義と言うものに関心を持つと結構いろんな事が分って面白いですよ、というお勧めなので御座いました。

2022/11/27-2

(オマケの英語教室 Danger)



英語で「アチッ!!」は Ouch

歩道を歩いている自転車がスピードを緩めずにかすめ通って行くような場合の「アブねっ」は Danger!!

「アブねっ、気を付けんかい、われっ」

は Wow, Danger!! Pay attention!! You Guy!!

と言う前に大袈裟に飛びのくアクション、その後最後に、拳振り上げの上、アッカんべえをして蹴っ飛ばし動作。

そういえば近頃咄嗟の場合には日本語で言うより英語で言う場合の方が増えてきました。

そう書くと「英語ぶっちゃって、ヤな奴」と言われそうですが、どうも咄嗟の場合に英語が飛び出すのは事実の様です。

理由は簡単で、その方が言い易いからです。

何故言い易いのかと言えば自分の様なお喋りの上に更に言葉以外のリアクションの方が多いタイプ人間には、リアクションするのに邪魔にならない英語の方が楽だからです。

詰り自分のその時瞬間的に感じた気持ちを表し易いからです。

無論長文や長広舌の場合には日本語の方が断然楽です。

そこで意外な事に気付いたのですが、日本語って「あれ出しちゃダメ」「是見せちゃ失礼よ」言い換えると「態度に表しちゃダメ」「その代わり言葉だけで表しなさい」と言う暗黙の掟の上に成り立っているのではなからうか?と。

コミュニケーション効果より言葉の様式重用、特に書き言葉重用で文書重用になっている様な気がしないでもありません。

なので、咄嗟の様な場合「そんなことを考えている暇のない」時にはまず、リアクション動作が先に立ち、それに引っ張られて「言葉だけで表しなさい」縛りの少ない英語の方が自然とくっついて出てしまうのではあるまいか、と。

English (speaking) is more easier operating for me at the emergency mode, I feel recently.

そういえば外国人と話す時は英語そのものより断然ジェスチャーの方が多いい事にも気が付きました。英語は本当にオマケ程度です。殆どリアクションとジェスチャーだけみたいな時もあります。

今日の日本語のレッスンの時もそうでした。外国人生徒さんは「こんなんでもホンマ、難しい日本語、おぼえられるんかいな」と言うように疑わしそうな顔をしていました。

On his face, came out doubts. OMG. It might be mistake, may be. Boo!!

Thank you.

(注)

Danger は「デンジャー」ではなく「デ、インジャー」

昨日の

Profile は「プロフィール」ではなく「プロファイル」

と発音致しておるようです。

2022/11/27-4

(オマケの英語教室 Lone ranger)



流れ者の渡りからす鳥が主役の「股旅物」を英語で何と言うか？

意識すれば「強き、をくじき、弱き、を助ける任侠物」を何と訳すか？

当然そんなややこしい訳は出来そうもないので、ここはひとつシンボリックに、子供の頃よく見ていたアメリカ TV ドラマ「ローンレンジャー」で代用いたしましょう。

「ローンレンジャー」は「ハイヨー、シルバー」の白馬に跨った「キモサベ」のローンレンジャーと斑馬に跨った相方のトントのコンビでした。

「キモサベ」はアメリカインディアンのトントがローンレンジャーを呼ぶ時に使っていた呼名です（恐らくジェロニモ・インディアン語だとは思いますが、意味は知りません）

今日もここから連想を続けて、次に浮かんできたのはスペインの文豪セルバンテスが書いたコンビ、ドン・キホーテと従者のサンチョ・パンサでした。

ドン・キホーテは同じく馬に跨りて鎧に身を固め、風車を見ると「怪物だ。退治して遣る」と言い張って風車目掛け、槍を片手に突進する様な旦那様。変わってロバに跨る従者のサンチョ・パンサはややしニカルな見方をしながらも旦那様に付き従って旅を続けておりました。

此処まで来ると此の原稿用紙3枚以内掌編小説シリーズ内の「父子シリーズ」が何やらセルバンテスの「ドン・キホーテ」のパロの様な気もしてきました。何処か頭のネジが緩んでいるドン・キホーテが自分で、ややシニカルな相方がムスコさんみたいな。

別にまねた訳ではないのですが、結果的にそんな感じがしないでもありません。

無論自分はセルバンテスの様な文豪ではないので、比較対象にはなりません。

唯、旅も好きなので「旅をしながらの掛け合い漫才みたいなことがずっと出来たらたのしいだろうなあ」とは思っております。

Don Quijote(Quixote)is not discount store name in Japan market, but Spanish Knight name written by ancient Spanish Great author Cervantez. Understand?

Thank you.

(注)

以前当シリーズに出てきた「ドン・ガバチョ」にせよ今回の「ドン・キホーテ」にせよ頭に着く「ドン」はマーロンブランド演じる処のゴッドファーザー「ドン・コルレオーネ？」等首領を表す呼称ではなくスペイン語で単に Sir を表しているだけ、なのだそうで御座います。

2022/11/28-2

(オマケの英語教室 good partner)



色々やっけて行くうちに英語を日本語にするより日本語を英語にする方が遥かに難しい事が分ってきました。文章の構造上の問題ではありません。単語の話です。

日本語の単語が余りにも細かく分かれ過ぎていてそれに該当する英単語が見つからない場合が多々出てきたのです。

例えば今回の本編に出てくる「名犬リンチンチン」と言う番組題名の中の「名犬」を何と英訳すればいいのか？です。

有名女優からとって famous を付けるのは意味が違うし、名人からとって master でも変だ。そもそも名とついてはいるが name という意味ではないので named Rin tin tin とするわけにも行かない。

さてどうしたものか？

こういう場合は最早「名犬」の「名」から追いかけるのはいつもながら無理な気がしてきました。

そもそもアメリカやイギリスに名犬などと言う概念があるのかも怪しいですし。

そこで仕方がないので欧米人になったつもりで隣に居るリンチンチンを何と認識するかを想像してみた処

My good partner Rin tin tin となりました。邦訳は「よき相棒リンチンチン」です。

犬という言葉はどこにも出てきませんでした。good partner dog と dog を付けるとなんか変な感じがしたのです。それに「よき相棒」が犬かどうかは欧米人の区分けからすると殆ど関係ない気もしたからです。

兎に角日本語の単語を英単語に置き換えるのは本当に難しいなと思うのが最近とみに感じる実感なので御座います。

Translating from English to Japanese is not so difficult. But from Japanese to English is very

difficult for me. Because Japanese words are very severely formed to details, then sometimes never can find out just matched English words. It`s very troublesome, tired, Japanese “graceful” sensitivity is.

Thank you so much.

2022/11/28-4

(オマケの英語教室 battle ship)



本編の中に出てくる「宇宙戦艦ヤマト」の中の「戦艦」を英語では battle ship と言います。巡洋艦も駆逐艦もフリゲート艦もイージス艦も「戦う船（艦）」なのでみんな「戦艦」の筈なのですが巨砲を積んだ排水量〇〇トン以上を特に「戦艦」と呼びならわしているようです。

何でこんな事を話せるのかと言うと自分のオヤジが重巡洋艦足柄に乗っていた元海軍軍人だったからです。

船は今のインドネシア、スマトラ島沖で撃沈され、命からがら艦載ボートで沈みゆく船を後にしたオヤジ等何十名かの生き残り残存兵達は、その後、スマトラ島近くの小島に漂着し、其処で創設された海軍臨時陸戦隊に組み入れられたのだそうです。そのオヤジは時折、元乗っていた船やその頃の話をお問はず語り聞かせてくれたりもしておりました。

ま、オヤジが元海軍軍人だったかどうかは別にして、本日はちょっとそのオヤジの思い出をお披露したいと思います。

オヤジはとても仕事の忙しい人間で、お袋との新婚生活早々、仕事で1週間泊まり込みで帰ってこないような人だったらしいのですが、自分と弟が小学校低学年の頃、仕事から帰ってくると自分が乗り組んでいた「重巡洋艦足柄」の鉛筆画を書いているところを弟共々に見せてくれておりました。

自分はその絵が少しずつ進みながら段々と出来上がっていくのを見るのがとても楽しみで、「早く夜にならないかな」とか、「オヤジは今日残業が少ない日だといいな。ちゃんと帰って来れないと詰んないな」とか、毎日自分が学校から戻ってくると先ず其れを心配しておりました。

自分のオヤジは字も大変上手だったのですが、とりわけその絵が信じられないくらいうまかったのです。

「重巡洋艦足柄」の絵は鉛筆描きで、書いた紙はその辺にある画用紙でしたが、その出来栄は素晴らしく、まるで本当に外洋を、波を蹴立てて疾駆しているかの様な感がありました。

「すっげえ」と子供心にも思いました。

オヤジ亡き後その事を思い出して家の中をかなりの時間をかけて家探ししたのですが、とうとう見つかりませんでした。

時計や骨董等金目の遺品は欲しいとは思いませんが、オヤジ自らの手になるそれら本当の遺品を見つけられないのは大変悔しかったです。

後、お袋の長年に渡っての書き込みが有る料理手帳も見つけられないのが本当に悔しくてならない気持ちです。

Damn it, so Damn it!!

(チキショー、ホンマに畜生！！)

Thank you so much.

2022/11/29-2

(オマケの英語教室 too much great sense)



本編中に出てくる「ダサイ」を英語で何と言うか？

是は意外と簡単に3ステップ位で出てきました。

無論完全な自己流英訳で御座います。

(ステップ1)

ダサイ=センスがない。センス悪い。「センスがない」だと単純に訳すと Non sense になってしまい、この単語の使い方をよく知っている方には誤解を招きそうなので止めて、「センスが悪い」方をチョイス。

(ステップ2)

コレマタ単純に訳すと bad sense となり、面白くもおかしくもなかったので少し捻って

(ステップ3)

邦訳的には「余りにも素晴らしいセンス」「素晴らしすぎて(涙が出そうな)センス」「度が過ぎる偉大なセンス」「度、越してない?それって、的なセンス」と言う意味で英訳を文章ではなく、キャプション扱いで

Too much great sense と致した次第で御座います。

詰り「褒め殺し」みたいな「反語的」表現の仕方です。前方(ケナシ)を探して妥当な表現が見つからなかったら今度は思いっきり180度、踵を返して反対の後方(ホメ)を使った表現を探してみる、みたいなやり方です。

後は皆様方のアイデアで自由にお遊び戴くのがよろしいかと存じます。

要するに「英語学習」というより「英語」は遊んでしまえばいいのではないのでしょうか。

(注1) 自分は昔埼玉県に住んでおりましたが周辺県が「ダサイタマ」と言う気持ちがよく分かりませんでした。結構住みやすくていい処でした。

(注2) 「ダサッ」と短く言う場合の英訳は単に booing の Boo!!とか Ups 「う、」でいいような気が致しております。

兎に角分らなくても何かを発することがとても大切な気がしておる次第で御座います。

出たところ勝負だが、しないよりした方がマシ。

後ろの分だけ訳すと

Done is better than Never

「出たところ勝負」の方は、それこそ「出たところ」に何の知識も持ち合わせていなかったの
で「勝負にならず」英訳はパスいたしました。

くらいで、よろしいのではないのでしょうか。

Thank you so much.

2022/11/30-2

(オマケの英語教室 a la carte)



本日は是と言ったテーマを定めずに本文中の出てくる単語の気ままな英訳で御座います。

1. 茹でガエル=senseless person for crisis
2. なかり然 (しか) =should never have done
3. 独演会=only me star talk show
4. 蛙の子は蛙=Frog is born from frog(or previous frog)
5. 成功は失敗の元=Success is the Mother of unsuccess.
6. 戒め (いましめ) =(今、締め)=advice for just now closing (or stopping)your behavior.

上記の 1 senseless は辞書を引かず単に sense + less を組み合わせただけ。

同じく 4 unsuccess も辞書を引かず単に un + success を組み合わせただけ。

3 の only me star talk show は完全な思い付きでしたが、どれ一つにも自動添削による誤りを示す赤の波線は付きませんでした。

要するに英語とはそういうアドリブが利く便利な言語の様な気がしてなりません。

日本語でも漢字ベースであれば接頭辞に不とか非を付けたり辞書にはない漢字同士を組み合わせれば結構即興でいろいろ新語ができた経験がおりかと思いますが、そのノリで英語も手玉に取っちゃえばいいような気もしております。

複数形では末尾に s をつけろとか、この時制は do 現在形ではなく have done 現在完了形を用いなさいとか、確かに多少影響は出ますが、根本的には全然関係ないのです。

学校では実際にこういった重箱の隅をつつくようなことに時間を費やし、教える先生も教わる生徒もへとへとの上ビビりまくっているような気がしてなりません。

はっきり言って指導法の完全な誤りだと思っております。

語学学習の基本的な「目的」は「良好なコミュニケーション」であって「正しい文法」ではありません。「正しい文法」はその一手段でしかないのです。決して目的でも最終ゴール

ルでもないと思っております。

2022/12/2-2

(オマケの英語教室 a)

とんちんかん
頓珍漢



1. 駅の「精算」機に書いてある英語が fare adjustment machine
2. フラワーアレンジメントは flower arrangement
3. もう一回やるのが again

Adjust, arrange, again どれも皆先頭に a がついております。

その各々の単語から a を取り去ると just, range, gain となります。

では先ず先述の 1 と 2。

両方共広い意味での「調整、調節」を表わします。

しかし 1 の adjust は just とついている事から想像できますようにかなりキッチリのを絞った調整です。なので、勘定をキッチリ合わせる「精算」機に fare adjustment (adjust の名詞形)

一方 2 の arrange の range は音響上の dynamic range (ダイナミックレンジ) からも想像できます様に或「幅」を表します。なので、調整は調整でも可成り緩やかで幅のある雰囲気醸し出しております。それで意味としては日本語として既に定着している「アレンジ」となる訳で御座います。

では 3 はどうか？

是だけ幾分筋が違っているような感じです。

Gain とは「得る」と言う意味です。「アンテナこの方向で、ゲイン(db)どれくらい？」此処で言うゲイン(gain db)とは「利得」の事で、自分が TV 事業部時代 BS アンテナ開発の仕事をしていた折にオシロスコープの電磁波系を見ながらよく交わした会話の中に出てきました(37 年前の工場敷地内建屋屋外での光景)

それでは最初に戻って全ての語幹の前についている a。

是は何を表しているのか？

思うにこの a は add(加える)の略形か at の略形なのではないかと。

詰り adjust なら just な形で付け加える、合わせるで、arrange なら range (幅) を持たせて付け加える、合わせる。そして again なら得ようとする行為をもう一度付け加える、合体させる、となります。

又 at ならピンポイントで adjust する。Arrange での at なら幅を持たせることに絞って合

わせるに。そして最後の again なら gain (得る事) に「於いて、目掛けて、的を定めて」と訳せるような気がしております。

この解釈が正しければ、会話の中で、このイメージに合う、このイメージを相手が抱く場面であれば、たとえ用法が辞書に載っていなくても使えるような気がしております。英語とはそういう幅のある言語の様に見えて仕方ありません。

Never adjust her, save it! Change it to arrange mode. Understand? Please think about it.

If you want her heart grabbing again.

(彼女の言うなりになるな (場面によっては「思い通りの女にしようとするな」になります)。抑えろ。代わりに着かず離れず位にして置け (場合によっては「多少アレンジする程度にして置け」) お願いだからそうしろよ。もう一度彼女の気持ちを掴みたいんだったら、な)

とかです。

詰り英語の単語とは意味が固定されておらず常に float, drift, shift, wonder している ameba 状態なのです。其れこそ幾らでも千変万化にアレンジできてしまいますから幾らイディオムを沢山覚えても追いつっこないのです。場面が出来るたびにその端からドンドン新語が湧き出てきちゃう訳ですから。なので、その対策としては、原義さえ押さえておけば後は場面に応じて応用すればいいだけ、という事になる訳です。是で大抵はこなせますから。我々、一般ピーポー等そうそう出られっこない国連の紛争問題解決会議にでも出る羽目にならない限り厳密な英語は必要ないんじゃないでしょうか。それを使う使用可能性確率って1億分 (凡その日本の人口数) の2か3でしょ? 気にしなくていいじゃないでしょうか、普通の英会話をするにあたっては。

だから日本の受験英語や大企業の TOEFL, TOEIC の点数重視 (間違いが少ない事) って学生に一体何を指させているのか? 余りにもトンチンカン過ぎて全然理解できない訳です。自分には。

2022/12/3-2

(オマケの英語教室 No problem=Daijoubou)



「ダイジョウボ、シャチョお金持ち、から。お店ダイジョウボ」

「何が大丈夫じゃ。お金ない、言うところがあ。お前らのサラリー集めるのにドンだけ苦労して集めてるか、しっとうか？いい加減にせんかい、こんタコ助 (UFO guys) どもがあ」

「でも、家デカイ。お金アル」

「台所からこっちは俺のもん、台所から向こう側は銀行様のもんや。真ん中にボーダーラインあんねえんでえ」

「ダイジョウビ。No problem.シャチョ、ラッキー、から。今迄なんとかなった、ある」

「いい加減な事、抜かすな」

「いい加減、very Gucci(means good)よ。Japanese very コマカイ。シャチョ、イイカゲン (broadly rough)とても good。働き易い(working relaxedly)」

「誰がいい加減じゃ。いい加減と言わずに flexibility 溢れると言え。俺のムスコサンも同じこと言うとしたが「いい加減」と言うのは本来 good balance いう意味なんや。それがいつの間にか no good faith か no truth 誠意、真意まるでなしのデタラメみたいな意味に代わっていったが、本来はやなあ good balance で、ま、せいぜい中を取って flexibility 位の意味なんやでえ、分っていの？あん？」

「difficult な事分んない。でも、エロ joke only 助かる、very helpful よ」

「「何てったってアイドル」的に世界各国、コミュニケーションの基本はエロトークにきまっとるやんかあ。そういう肝心な事、高等教育受けた人達分つとらんのよね」

「Exactly, シャチョ、ドスケベある。女大好き、ね」

「あつたりまえやでえ。男も女もスケベでなかったら子供、出来へんやんかあ。したら人類滅びてまうで。押し倒してでもせん限り、全然悪い事なんぞ、ありへんぞなあもし」

「シャチョ、のゲンキの source 是、ゼツタイスケベ power ね」

「そういや、いつも言うとするが、はよ、sexy dynamites woman か American beautiful California gal 連れてこんかい。China の honey trap beautiful woman spy でもOKや言うところうが、あん？忘れたん？ん？」

「ナハ、ナハ。私、三歩散歩するとすぐ忘れる(tiny memory holder)、ある」

「シャチヨの命令、command なんぞ忘れてもいいがシャチヨの好み、favorites だけはちゃんと覚えとかんかい。それが your most important job やろがあ」

「私、コック(cook)ね。ポン引き、美人局(つつもたせ)、ちゃいまんねんでえ。Woman introducing NO!!で Gal assembler でないのよね」

「お前結構もう Japanized されとんなあ。あんまり細かい事いうなよ。Never say such a to-detail talks」

「私、very 真面目ある。そんな under the table job (袖の下取引的ジョブ) しない、あるよ」

「よう言った。それでこそ俺が選んだだけの事はあるわが社社員だわ」

「Suddenly changed (突然の打って変わり様) Always like this (いつもこんなやでえ) No option (かなわんわあ)」

「What did you say? (なんか言うた?) I can't hear you (聞こえへんでえ)」

「聞こえてない方が for me better ダイジョウボ? condition ね」

2022/12/4-2

(オマケの英語教室 chilled and frozen)



冷蔵庫の一角に「チルド室」chilled room と言うのがあります。26年前から使っている家の冷蔵庫の仕様の話です（家の冷蔵庫内は美しくないのですが上の写真はネットから落としてきました）

此処は冷蔵庫内(refrigerator inside)の周囲温度より幾分低く冷凍庫 freezer より幾分上の温度に保たれていて、日本語で言うと「半冷凍室」の意味になります。

又英語で chill と言うと風邪の前症状である「悪寒」の意味にもなります。

要するに freezing の様に完全にカチンコッチンに固まるのではなく、ちょっと身震いする様な感じの状態を表しております。

更に余談となりますが、外国人さんは冷蔵庫の事をよく「フリジ」(fridge) といっております。フルの refrigerator が余りにも長ったらしいので短縮してそう呼んでいるようです。是は refrigerator の語の中の frige が音便化 (d を付加) して fridge となったもののようです。

Air conditioner は AC (エイシー) . Television set は TV (ティーヴィー) と短縮しております。

我国では AC と言えば AC コンセント (交流コンセント) ですが外国ではエアコンを指しております。

そういえば昔「チルチルミチルの青い鳥」と言うのがあって、その先入観があったものですから英語の chill (チル) と耳にするとどうしても「青い鳥」を連想してしまい「凍える、悪寒がする」と言う意味と結びつかない記憶があります。

この時の脱出法は「鳥も真っ青になる様な寒さ、とか悪寒」と覚えて切り抜けました。

Your jokes make me frozen, not chilled. It forced me almost so black out mode. Improve it.

アンタのジョークでいつもあたし「固まっちゃう」のよ、「さぶっ」じゃなくて。

(血の気を引かせる位) 殆ど「目の前真っ暗」だったわよ。「カイゼン」してよね。

因みに28年前、windows 3.1ver.の時代には、パソコンがhang out(or up)して固まることを「パソコンがフリーズした」PC was frozenと申しておりました。

又ネスカフェ・ゴールドブレンドの commercials で「フリーズドライ製法」というのもありましたっけ。今宵も又、自分はゴールドブレンドのお世話になりながら是を書いて居りますが。



2022/12/5-2

(オマケの英語教室 What comes out with saying hello suddenly)



「ポロリ」を英語で何と言うか？

実はこれに類する詞がないので、少々長ったらしくなっていました。

What comes out with saying hello suddenly

(突然こんにちはと言いながら飛び出てくる処のもの)

是は前にも書きましたが、日本語と言うのはこの「ポロリ (と)」と言うような擬音がとても多い言語の様な気がしております。

そしてこの擬音。身振り手振りを添えながら話すとその音感のせいでしょうか？結構外国の方に通じるのです。

元々日本語には擬音が多いのですが、漫画文化が発達して以降、さらにそれに磨きと量が重なった気がします。

なので、話に詰まったら擬音を使え。更に詰まったら「漫画になれ」です。

処で話は突然変わりますが、先に述べた文章の中の hello (こんにちは) という言葉。

是は何故 hello と言うのかをちょっと遊びで考えてみました。

Hello って文字をよく見ると hell + o です。

意外な組み合わせです。

次に後ろの o に n を付け加えて on にしてみました。すると hell + on

そしてその並びをさかさまにすると on(the)hell となりました。

詰り「地獄の上を」になりました。

そして hello の邦訳は「こんにちは」

となれば「地獄でこんにちは」から何となく「地獄で仏」を連想し、そこからさらに hello とは「地獄で仏に遭ったようなときする挨拶言葉」となりました。

英語圏でしたら「地獄で神さま」でしょうか？当店の現在の経済状態でしたら「地獄でお客様さま」？

”Hello”means the greeting words when met Buddha(God, Customers)on the hell(road)

ホンマかいな。

(注1)

直前の合う相手の英訳上の並び順に特に優劣は御座いません。話の流れの順番に沿って訳ただけで御座います。念のため。

(注2)

他には on the hell の後に更に oh をつけて on the hell shouting “oh”が hello とする案も御座います (oh は Oh My God!!の中に出てくる oh でもあります)

2022/12/6-2

(オマケの英語教室 Betty Boop, Boo?)



I wanna be loved by you
Just you and nobody else but you
I wanna be loved by you - alone
Boo boo bee doo

特に最後の「プッピ、デュ」でお馴染みのマリリンモンロー。

其れより前にアメリカ漫画映画の中で Betty Boop が歌っていたような記憶があります。

どっちがどっちだったか忘れてしまいましたが、余り区別しても仕方がないでしょう。

要するにデレデレのお色気、鼻にかかったゴロニャン甘え落しソングです（当然言われた方は間違いなく落ちます。落ちて差し上げます。いや、退職願い出してでも自ら進んで落とされに参ります。

そういえば昭和の時代、禁煙パイポの CM で「私これで止めました」の後に禁煙パイポを出すのですが、最後のオチで「私はこれで会社を辞めました(I was fired by this)」と言ってメガネを掛けた堅物そうな男性が小指（女の暗喩）を立てるのがありましたっけ

其れはさて置き、この Betty Boop ちゃん？ どうしてこの名が付いたのか？ ちょっとまた考えてみました。

以前の記事で

有名なジャズプレーヤー Benny Goodman の名の由来がひょっとすると Very Good man で、それではいくら何でも露骨だろうと Benny Goodman とモジリを入れたのではなかろうかと言う推論を立てましたが、本日も其れに倣うとすれば Betty Boop も

The woman even if she says Boo!! Or Ops, it sounds better some why.

(たとえば彼女がブーとかウツとか言ったとしても、なんだかよく聞こえちゃう女)

で Better が Betty に、Boo + Ops が Boop になったのではなかろうかと。

今日も今日とていい加減。

バイナラ。

2022/12/7-2

(オマケの英語教室 spiraling spy)



スパイする事を spy というのは理の当然ですが、よく外国人の話を聞いていると「隣は何をする人ぞ」も「様子覗い」も「偵察する」も全部 spy という語を使っておりました。結構幅が広い様です。その為本職のスパイについては secret service とか intelligence とかいろいろ使って日常生活で使われる語の spy とは区別しているようです。

其れはさて置き、本日本編の作物を書きだしてふと気づいた事がありました。

それは spy の元になった語は spiral なのではないかな？という事です。

Spiral は邦語では「螺旋（状）」又は「螺旋階段」と訳されます。

（因みに螺旋の螺の字はカタツムリ、要するにでんでん虫の事で、あの渦巻き状の殻の様態から「螺旋」とついたようです）

それが何で spy の語源ではなからうか、になったの？と言われそうですが

先ず語幹が spy と spi で大変近い。

次に螺旋階段の中心棒から見た場合、周りの階段部分は自分の事を「周囲をぐるぐる回りながらああでもないこうでもないでジロジロ様子を覗っている」感じに思えたのです。

なので、spy の元の語は spiral ではなかったのか、と。

もし仮にそうだとすると、対象物 (target) をぐるぐる旋回しながら様子見する所作について Spiraling spy という謂い方も成り立つのではなからうか？とこの記事の題名にしてみました、下に間違いを示す赤い波線が付きませんでしたので、是は有りなのかもしれない、と思った次第で御座います。

何度もくどいように、其れこそ「螺旋巻き付け繰り返し」的に申し上げますが、英語と言うのイメージ言語で、その場で幾らでも造語出来てしまう大変便利な言語です。自分は色んな表現するにあたってその恩恵に浴し、大変重宝させて戴いております。

2022/12/8-2

(オマケの英語教室 screen)



Screen と display 同じ映像装置ですが、二つの違いは自家発光するかないかの違いだと思っております。自家発光せずに投射して映すのが screen。自家発光するのが display、と言う訳です。

最近仕事で殆どパソコン display にお世話になっているのですが、昔は映画雑誌の「スクリーン」にお世話になっておりました。

映画は滅多に見に行きませんでした。小学校の課外授業でドレミの歌で有名な「メリーホプキンス」を見に行っただけです。

何故映画を見に行かなかったかと言えば元海軍軍人のオヤジが

「ジーパンはアメリカの労働者のズボンだ。みっともないから履くの止めろ」

とか、小学校の頃流行っていた皆でスクラム組んで「アンポハンタイ、アンポハンタイ」と言いながら練り歩く「アンポハンタイごっこ」をする姿を見て

「おんどりゃ、サヨクか。即刻ヤメ」

とか

「映画館に行く奴あ、不良ばあい。そげなとこばあ、イクでなかと」

とか、兎に角オヤジは折り紙付きの超「ドウヨク」& 超ド級「ドタイセイハ」で学校の課外授業以外自分は映画館には行く事を許して貰えなかったのでございます。

思い起こせば生涯スルーして小遣いは一銭ももらえずその為こっそり映画館に行こうにも軍資金がないので行けなかったのでございます（映画を自前で見に行ったのは就職して給料が入る様になってから見た「鎌田行進曲」が最初でした。学生時代のアルバイト代は全て留年時の自腹学費と旅行資金で消えておりました）

しかし何故か本を買うお金だけは惜しみもせず渡してくれたので、中学に入ると直ぐに自分は「活きた英語の勉強に役立つからスクリーンと言う映画雑誌買うお金、ケロ」というとあっさりお金を出してくれました。映画館には行けませんでした、その雑誌を見ながらあれやこれや想像し、映画を見に行っただけ気分になっておりました。

仮にお金があってこっそり映画を見に行けたとして、もし其れが見つかりでもすれば

「ケツ出せえ。歯あ、食いしばれえ。精神注入棒で魂、叩きこんじゃるう、けん」
とバットでも持ち出しかねませんでした。

こんな話が出てくるのもオヤジが戦地で軍医殿から麻酔なしの手術を受ける際

「ベッドの鉄柵に手縛れえ。口に手ぬぐい入れて歯あ、食いしばれえ。覚悟を決めてしばし、死んでおれ」

と言うような痛みに極端に弱い自分等、想像するだけで卒倒しそうな経験をしてきたから
でございました。

麻酔なしの手術と言うのは、搭乗艦が撃沈されて後、漂着した島に於いて上陸軍に対する
防衛線維持の為の戦いで余りに戦傷者が多く、慢性的な麻酔不足に陥っていたからの故で
ございます。麻酔は全て重傷者の手術に回っておったそうでございます。

其れはさて置き、映画の他にもポピュラーソングは「あんなミーハー、何処がいいんじゃ。
腑抜けになるだけやろうが」と当然ながらレコードを買う事は許されず、仕方がないので
テレビの「ミーハー歌番組」をこそこそ見るしかありませんでした。

そんな中で強い憧れを持って聴いたのが「シルクロード番組」のテーマ曲だった久保田早
紀が歌う「異邦人」でした。

是を聴いて「大学は考古学に進もう。シルクロードの発掘調査隊に加わって超ド級悶絶エ
ロ・フェイス&メガトン級エロ、エロ、エッサイム・バディのウズベキスタン、ペルシャ
系美人とナニしに行こう、ナハ、ナハ&ウッシッシ」

と思ったわけでございます。詰り趣味と実益の「一石二鳥狙い」

「人生は楽しからずや、エロのナニ。ナニがナニして、カンチャンズッポシ、心地ヨシ。

Ax, happy, happy!!」

とか。

話が完全に逸れておりますので、此処でようやくお題拝借。

映画雑誌の名前にもなっている screen。思うにこの語源は scene(シーン=場面)からきて
いるのではなかろうか?と。その時々場面を映し出す銀幕(昔はスクリーンの事を銀幕
とっておったそうです。曰く銀幕のスター、例えば、劇作家つかこうへい作「鎌田行進
曲」の中に出てくる銀ちゃんとか)

“Screen” is from scene. Because a screen is what scene reflected(reviewed), I guess.

Thank you so much.

第14集

2022/12/9-2

(オマケの英語教室 narrow land like a forehead of cats` scale)



題名は無理やり英訳したのですが、意味は邦語で言う処の「猫の額ほどの(狭い)土地」の直訳英語です。

是は「恐らく」の話ですが、欧米の小麦産地に、本書本編主題の「麦踏み」の習慣がなく我が国にある根本的な原因は、自分の推測ではその地の耕作面積に関係しているのではなかろうかと思っております。欧米の小麦産地と言えば、昨今耳目を集めておりますウクライナはじめアメリカやカナダ、オーストラリアなんか大きな機械で刈り取る程広い耕作面積を有しておりますが、我が国では平地が少ないせいもあって耕作面積がそれらの地域に比べれば遥かに狭く、そのままでは収穫量も労力の割に少ない事が想像されます。

ですから、まず欧米ではそんな広い土地を麦踏して廻ろうなどと言う発想がなかったでしょうし、反対に我が国の農家にしてみればただでさえ狭い耕作地の中で更に麦版稲持病などのロスによる収穫量の減損を以下に食い止めるかが喫緊の課題だったと思われま

す。詰り我が国で麦踏み耕作が起きたのは、先ず土地が狭かったからできた。それで何故そうまでしたかと言え狭い土地での収穫量の減損を食い止める為の品種強化がその理由であったという精神文化的な意味ではなく、極めて合理的な経済パフォーマンスの側面からだったと言えるのではないかと。

同じく山岳地又は荒れ地が多く耕作面積がそれほど取れない国に当店カーリー、タンダー料理をするコックの出身地であるネパールがあります。

ネパールでも今回のコロナ禍で多くの方がお亡くなりになりました。

原因はもちろんコロナ感染症そのものもあるのですが、一時帰国したネパールボスの奥さんの話によれば

「コロナ禍で職を失い、かといって外出制限で外にも出られずに食べるものを買うお金がなくなって家の中で餓死した人が近所に何人も出ていたわ」

と言っておりました。

Under covid-19 crisis, they Nepali workers lost jobs. But from saved outside going, then never can go out for working and never can buy food materials because of no having salary, it caused their death inside house.

こうした記事は我が国では全く報道されておりません。

そのせいもあってか、話を聴いた時、想像さえしなかった事態に不意打ちを食らい、かなりのショックを受けました。

我国もネパール国も資源的にはとても貧しい国です。しかしネパールコックともう5年以上一緒に仕事をしたりネパールボス夫婦をはじめ何人かのしっかりしたネパール人さん達と親戚同然のお付き合いをさせて戴いたりしておりますと、心象又は考え方、風習の一部に我々日本人と可成り近い部分がある事に気づかされました。

なので、自分たちのルーツは案外朝鮮半島や中国大陸そのものからではなくネパール国出身の祖先が中国大陸や朝鮮半島を経、流れ流れて我が国に辿り着いたのではなかろうか？と時々推測したりしておる次第で御座います。

Nepali might be roots of our race, I guess sometimes.

勿論科学的根拠は全く御座いません。自分の心象の話で御座います。

Certainly, I don` t have any scientific evidence, proof. It`s my guess merely.

Thank you so much.

2022/12/11-2

(オマケの英語教室 for good communication, will take a mistake consciously, sometimes)

(Our team members)



以下は本編の（注）からの引用で御座います。

ですので、本編をお読みになられる方は本編の後についております（注）は読み飛ばしてくださいませ。

では、以下。

（注）

本編では登場人物の外国人に分り易い様に英文法上では明らかに間違いである表現を敢えてしている箇所が処々ございます。例えば the greatest であるべき処を強調の意味で the most greatest と最上級を W 重ねてあらわしているような箇所で御座います。その表現法は、国によっては greatest という単体最上級を使わずに、どんな形容詞にでも the most を付けて済ます傾向が結構あるからです。逆に単体の最上級英単語 greatest だと却って相手に分らない場合すらあるからです。しかし我が国の学校のテストではまず NG ですので、その点はお気を付けくださいませ。

（上記の the most greatest は我が国の英文法上は間違いであるのですが、何故か自動翻訳では間違いを示す赤下線が付きませんでした。英語の現地表現ではそういう使い方も強調表現として許されている様でございます）

あと「自殺」は suicide と書けば欧米人には分りますが、その単語を知らない英語圏外の外国人には分らない場合がある事を念頭に、これまた敢えて self-killing という逆に欧米では使わない英単語を付け加えたような処も、で御座います。

このように現場では「文法よりコミュニケーションを優先する」事からの差が出てくる場合が多々ありますが、当店でもコミュニケーション優先で時々「敢えての違い」英単語を使っております。兎に角「語学」と言うのは間違いなく「より分かり易く伝わり易い良きコミュニケーション醸成の為の道具、しかもジェスチャーやイラスト、図表、表情メイキング等数多ある中の、その内のひとつにしかすぎません」から。

2022/12/10-2

(オマケの英語教室 good and well)



Good と Well

同じ様な「よい、よく」の意味。しかし、其れこそ「よく」考えてみると似ているようでなんか違う様な気がして来ます。

Good は good bye, Have a good day, good job なんかに使います。

一方 Well は昨今頻繁に目にする well-being, ステーキの焼き加減 well done (中までしっかりと十分に火が通ったよく焼き) 又は洋服の well done (よく使いこまれてこなれた。よく身に馴染んだ事に価値を見出す若者向けの敢えての古着売り) や get well (快方に向かう) なんかで日本語化して使っております。

何が違うのか？

後者 (well 使用の例) について一つには音韻の関係の様な気もします。good-being より well-being の方が耳になじみやすいですし、同じく good done より well done, get good より get well の方が全然スムーズに hearing できます。しかし意味的には good でも well でも左程の違和感はありません。相容れないかと言うと、そんな事はない気がします。

しかし前者(good 使用の例)は音韻の関係もさることながら、意味的にみて good と well の置き換えは完全に異質で無理な感じがします。

Good の反対は bad。では well の反対は？咄嗟に思いつきません。仕方がないので not well とします。

と、此処まで書いてまいりましたが今一つ未だその差が判然としません。

強いて言うなら good は good-bad の連想から「やや倫理観的側面のある印象」で well は well- not well の対語印象から「出来栄えの良し悪し」つまりより作業、行為実務、実利的な面を表しているのではなかろうかと推測するにとどめさせて戴きたく存じます。

Using “Good” holds aspect from ethics, using “Well” holds aspect from actuality, I guess.

因みに冒頭の「よく考えてみると」の「よく」は good ではなく well でしょう。

意識としては「倫理的な良し悪し、善悪賞罰」とは全く関係のない「よりしっかりと」

「きちんと把握して」等の「しっかり」「きちんと」を表す「出来栄え」に使われるのが well である感じがしております。仮に倫理的な良し悪し、善悪の good に置き換えて訳してみると「よく考えてみると」は「良い方向に考えてみると」となってしまう明らかに意味が異なってくる事でも well を使う方が妥当かとも思われますので。

Thank you

(注)

しかし、それにしても well-being なんて言う単語、よく見つけてこられましたねえ、一体どこから引っ張り出してきたんでしょう？メディアは。

「着実に踏み固めた（在り方）」とか「適材適所で」とか言えばいいと思うのですが、其れこそ「フツーに使い慣れして十分にこなれた well な日本語で、と我々爺さん連は思うのですが、如何でしょう。

後、擬音表現での well は「ガッツリ」とか「ガバッ」「ガブッ」「ドッカン」「グイッと（鷲掴み）」てな「腰腹（＝肚）の据わった力強い感じ」でしょうか、ね。

(♪イヤミは続くよ～、何処までもお～♪な意地悪爺さんのこっそり陰口)

Well-being なんて鼻高々に言っている人に限って英語、全然喋れなかつたりするんですよ、ね。自分が観察した統計的結果に基づけば。

2022/12/12-2

(オマケの英語教室 colored (eyeglasses))



Colored は直訳としては「色付けされた」と言うニュアンスです。日本風に申し上げますと「色眼鏡で見る」と言うニュアンス。

Watch through colored(coloring) eyeglasses.

(誤解されると困るので敢えて書きますが、colored の語は決して「有色人種」の事を指している訳でも暗喩している訳でも御座いません。特に外国では誤解を招きやすいので、敢えて一言)

一方これは以前にもどこかで書いた記憶がありますが prejudice と言うのは「偏見」を意味します。是は pre + judge(=judge)つまり「見聞きする前から前以て判断している(結論を出している)」と言うのが直訳で、それを漢語で「偏見」と訳しておるわけで御座います。

詰り「いいとか悪いとかの議論」ではなく「あいつが云ったから、やったから(あれだから、これだから)」という、ただそれだけの理由で切り捨てる、避ける事を指しております。

ではそれら「色眼鏡」「偏見」に根差した我が国でよくみられる理屈抜きに強いる「同調圧力」を何と英訳するか？

是の直訳は

The unseen pressure of forcing the same style tightly (nonlogically) no allowing extra one

「例外を寸分たりとも認めず同じ様式を強いる目に見えぬ圧力」でしょうか？

意識的には

Same mark stamping pressure でしょうか？

そういえば我が国と外国での教え方に大きな違いがあるのが一つありました。

我国では

「人間は皆「同じ」だから分かり合える「筈」

と教えるのに対して、外国では

「人間は皆「違う」から分かり合う「努力が大切」

と。

前者はともすると無事故、無謬が前提となり、其れが場合によっては最低の条件、既得意識、更には神話化さえします。

一方後者は事故や間違いは必ずあるものとして現実的な危機管理を行う傾向があります。そういう意味では現在同時多発的に多難に遭遇している我々、我が国国民は根本的且つ伝統的な考え方や感覚を今少しシフトする必要があるような気もしております。

2022/12/12-2

(オマケの英語教室 Business is busy)



たまたま Business is busy と書いて「え、business って busy の名詞変形なのかぁ」と、してやったりとばかりに膝を叩きました。

「ビジネスとは忙しき事なり」或いは「忙しき事をビジネスと呼ぶ也」とか。

因みにここから日本語講座になりますが「忙しいの「忙」とは「心」を「亡くす」様な状態」を表しております。決していい状態ではありません。何しろ多忙過ぎると「うつ病」の原因になったりもしますから。

しかし自分の様な古い世代は「ある程度忙しくない」と仕事をした気になれません。要するに貧乏性なのです。言い方を変えると「(前に進むには) ある程度のストレス(反発力引き出し装置又は後押し、背中押し)が必要」とも言えます。

うつ病時代、全く仕事を与えて貰えず「死ぬほど暇で、ヒマで、大ヒマぶっこいて困った」時代がありました。

そのトラウマからか「儲かるシステムさえ出来上がれば、マニュアル化出来て他の人に仕事が任せられるので、儲かりつつも却って社長はヒマになる」という誠に結構な事態があまり好きになれないのです。多少儲からなくても「忙しく立ち働いていた方が楽しい」という変な体質になってしまいました。

其れ故、大方の予想に反してこの Business is busy は自分にとっては「誠に有難い事態」なのでございます。

一言居士、負け惜しみ爺と揶揄されましても。

(追記)

うつ病時代のヒマ地獄に懲りて「二度とこの暇地獄に陥らないためにはどうすればいいか？」を真剣に考えました。

其処で出てきた答えが「難問に当たる程、暇つぶし効果が高い」となりました。

それで、現在の無理難題に挑んでいるようなところもあります。

以上

2022/12/13-2

(オマケの英語教室 English using way has no formula. As it happen inspiration mode is OK no problem)



と、題名に書いた通りで御座います。

「英語の使い方に公式（方程式）なんて御座いません。たまたまその場の思い付きで結構でございます。じえんじえん問題、なかと、でござえますだ」

例えば

「勝手にしやがれ」「お好きにどうぞ」

をまともに訳すると

Do it as you like

とか

Do whatever you want

とかサイトには出てきますが、

別にこれを

Put it on as it happened

詰り

「それを、たまたま出てきた物の上に置け」

でもいいのです。

英語と言うのは日本語の様にジャスト 1 対 1 の翻訳がある訳ではなく、動詞と前置詞や福祉を使ってその雰囲気を醸し出せれば相手に伝わる言語です。

他にも皆様方の即興や偶然の思い付きで全然問題ないのです。日常会話的には。

問題があるのは我が国の試験採点上だけの様な気がしております。

なので、実にばかばかしい「縛り」だと常々思っております。

こんなアホなことしているからいつまで経っても英語を話そうという気に全国民がなって居ないだけの様な気がしております。

「いい加減、わざと英語を難しく見せる事で飯を食っている人たちは、その「己が利益さ

え得られれば受益者がどうなろうと知ったことか、それでいいじゃん」と言う「公に資するべき役目」のインテリにあるまじき自己保身的愚行を止めなさい!!」と言うのが自分の偽らざる正直な本音で御座います。

「ホンマ、実にクダラン奴らじゃ」

と思う「正義の味方、月光仮面 & ウルトラマン」爺は怒り心頭でございます。

2022/12/15-2

(オマケの英語教室 no idea but let`s stretch and dance together)



No understand でも I don`t know でもない「わかんない」を表す言葉で No idea という言い方を時々耳にします。言い換えてみれば「それに対する考えや感想、情報を持ち合わせていない」と言うような意味合いでしょうか。

何でこんなことを書いているかと申せば、本日のオマケの記事を書くにあたってこれと言った話題が何も思い浮かんでこなかったからです。曰く「開店休業、頭の中に閑古鳥 (Open just close. In my brain full occupied too much enough coffee breaking time)」

と、此処まで書いて「それにしても英語って楽な言語だなあ」と改めて感じました。

こんなことを書くと又イヤミに取られたり、エラぶって聞こえたりするんですが、厳密カクカク、シカジカの慣用句使いや縛り過多な気がする日本語文章ばかり書いた後に、組み合わせ何でもありあり、any style OK よ、な acceptable tolerance 流儀な英語で書くと自由度がグンと増した気がしてとても楽に感じるのです。あまり考えずに思ったままドンキャンパスに絵を描くみたいな感じとでも申しましょうか。或いは意味よりも音韻伝いにアドリブで書けてしまう文章ジャズみたいな感じとでも申しましょうか、何となく絵や音楽に似ている気がします。後強いて付け加えるなら思い付きで適当な振りを付けている自己流ダンスステップみたいな感じですが、言い方は悪いのですが、頭より遥かに体を使って肉体労働やストレッチ体操をでもしている感じがしてとてもリラックスできるのです。

Writing in English brings very relax mode like a stretch exercise doing rather than in Japanese to me. It`s my impression now a days.

Thank you.

2022/12/16-2

(オマケの英語教室 foreign)



●我々日本人の無意識の思考法は日本語の特性によるところが大きいような気がしております。

曰く

様式美重視

間違いを許さない

厳密且つ精緻

等

結果、我々の思考習慣や生活態度の中の大半が是に縛られてしまっているような気がしております。

その元を作り出している日本語ですが、その日本語に於いて

約束事や決まり事、idiomが多く、前へ進もうとしてもなかなか進めなくなります。

更には有識者の方々が「日本語が乱れている。正しい日本語を話せ」とおっしゃいますものですから増々がんじがらめになって参ります。

その、極言すれば「精緻志向」の考え方や

それに基づいた「日本語単語1に対して英語1単語が同数存在するはずである」という日本語の特性から「勝手に類推した」考え方や見方を

フレキシブルでアドリブライクな英語の学習にそのまま当てはめてしまいますと、

その本質の相反性から

探し物を求めて全く反対方向に歩いて行く様な

「完全にマイナスの学習効果」が最終結果として出てくることになる様な気がしております。

ですので、直感的なものを表現するには英語が適しており、日本語はその論理性、精緻さが促す思考飛躍鎮静効果即ち冷静化には向いていると思われまますので、夫々の特性を生かした TPO に応じた使い分けや学習法があってもいいのではなかろうかと考えております。それを促すためには英語と日本語の上に来る上位概念が必要となりますが、自分はそれを各国語の言葉の「原義」「語義」に求めるのが有効ではなかろうかと思っております。

以下、その例をご参考までにご提示申し上げたいと存じます。

●我が国では foreigner を外人、外国人と訳します。或いは呼んでおります。

Ministry of Foreign affair とは外務省の事で、此処でも foreign(affair)には「外」務と「外(そと)」の呼称が付いております。

処が foreign, foreigner, foreign affair に共通して付いている fore を含んだ別の英単語

例えば

Forehead (額ひたい) や

Forecast (予測)等

同じ fore が付いているにもかかわらず我々日本人には事前では全く予想すらない訳語が付いております。

となると fore というのは、その原義、語義は一体何なのかという事になりそうです。

Foreign, Foreigner, foreign affair, forehead, forecast に共通する概念は何なのか？

処で forehead (額) は「前」頭に存在します。

又 forecast (予測) は先 (=さき = 「前」 = さき、まえ) に対する推測推量です。

共通しているのは「前」であり、何処にも「外」の文字は出てきておりません。

ならば次に foreign と forehead, forecast に共通する更なる上位概念は一体何なのか？

自分が思うに、それは内か外かでもなく、前か後かでもない、fore の表す上位概念とは「(行った) 先 (さきにあるもの)」を表しているのではなからうか？と。

大陸では「行った先」は陸続きです。昔シルクロードと言われたその道をラクダに乗って交易に向かった隊商 (キャラバン) を思い浮かべて戴ければ、間に海がないので、その陸続きを実感して戴けるかと思えます。要するに内外 (うちそと) の概念があまりないのです。

処が四方を海に囲まれた我が国では「行った先」は必ず「海の向こう」であるために海を間に挟んだ「内と外」の概念が無意識に根付いたのだと推測されます。

其れ故 foreign とつくど直ぐに「外」が思い浮かべられ外国、外国人、外務省と訳が付いた様な気が致しております。

そしてこの「外 (がい、そと)」と言う一語が付いてしまった為に foreigner の事を「外者 (よそもの)」として疎外感、異質感を持って受け止める様になってしまったのではなからうか？と。

つまり foreign の意味する処の言葉の原義と、我が国に於ける「外」の規定の仕方の地理的な成り立ちを十分に理解できておれば、こういった誤解が生まれる事も無かつたろうかと思う訳です。

その不幸な相互不理解を払拭する為にも今後は相互の言語の「原義(core image)を咬み合わせて教える教育」必要な気がしておる次第で御座います。

(追記)

因みに英語の mother land 英国も四方を海に囲まれた島国ですが、英国の地は元々ブリテン (イングランド)、スコットランド、アイルランド等島内に別々の国があった訳ですし、

海と申しましてもドーバー海峡を渡ればすぐにフランスだったことを考え併せると「外」の概念が余りなかったのではなかろうかと推測しております。

猶、本日の和文を英訳する力は未だ自分には御座いませんので、不誠実ながら略させていただきます。

2022/12/17-2

(オマケの英語教室 out)



Black out は停電。White out は吹雪いて真っ白、白い悪魔。

上記の夫々は、シーンや使い方によっては black out が日本語で言う処の「目の前真っ暗」「お先真っ暗」に white out が「頭の中、真っ白」としても十分成り立ち得ます。

要するにこの場合の out は「黒白の闇、視界不良、断絶、先が見通せない状況、状態」等をイメージさせております。

例えば out は他にも野球で走者がホームに突っ込んで間一髪間に合わなかった場合や、出塁ベースからリードを多くとり過ぎて牽制球に間に合わないと touch out されてしまいます。この際は生存走者の命が立たれることを out と申しております。

同じような意味で

Under the war life line has been cut out(off)と言うのもあります。

これは戦時下、生命線が絶たれている、の意味です。

(cut out は切り外す cut off は切り離す、と言ったイメージでしょうか)

このようにアウトは core image の「外」「領域、範囲外」の展開として「ある条件の外、好環境の外」詰り良くないマイナス状況一般を表す言葉として使われているようでございます。

2022/12/18-2

(オマケの英語教室 brand new)



昔、家電「製品」メーカーで商品企画の仕事をしていた時に上長から「新製品と言うな。新商品と言え。製品は製造サイドの言い方だ。これからはお客様が主役の世の中になるから製品と言う言葉を使わずに新商品と言え、いいな」と言われました。

「成程」顔しつつも内心「産みだす発想、決済のポイント、全然変わってへんから、是はうわべだけの単なる cosmetic change (化粧(デザイン変更のみの事)替え)、only by mouth (口先だけの) 的な言葉の遊びや、な」と密かにうんざり陰口(held hidden comment inside from “too much enough” feelings)を叩きました。

新製品は new products

新商品は new goods

でも我々日本人の感覚では new goods と書くと何か小物を想像してしまいます。

では新商品を英語で何と言えば英語としても正しく、我々日本人の腑にも落ちるのか？

そこで思いついた(正確には思い出した)のが brand new

邦訳では「初お目見え」「新登場」でしょうか。

比べるもの無き新商品であれば concept new とか、ちょっと長くなりますが break through(ly) coming out concept new one(never can compete with formers, others)当りが妥当かとも思われます。

何度も申し上げておりますが、このコーナーでは敢えて辞書を引いておりません。何も引かない前の知識で何とか表現できないか？と言うのが本コーナーの趣旨で御座います。

ですので、正しい答えをお求めの際は、各人各様にお調べされる事をお勧めいたします。

2022/12/19-2

(オマケの英語教室 hearing or dictation?)



高校の時 hearing test の事を確か dictation と言っていたような記憶があります。

会社に入って商品企画部に在籍していた折、ユーザーからの聞き取り調査の事を user hearing と確か、言っていたような。

では hearing と dictation はどう違うのか？

此処で以前の文章である事に気が付いた事を思い出しました。

それは dictation と dictionary の語幹が同じ dict であったと書いた自分の記事を。

Dictation したものを「書き貯めたのが」dictionary になった。Dictionary とは dictation の集積体であるのではなかろうか？という記事でしたが、其れを応用すると、

Hearing は「聞き取り」で

Dictation は「聞き取り + (其れを) 書き「留める」(dictionary は (其れを) 書き「貯めた」もの)」という違いなのではなかろうか？

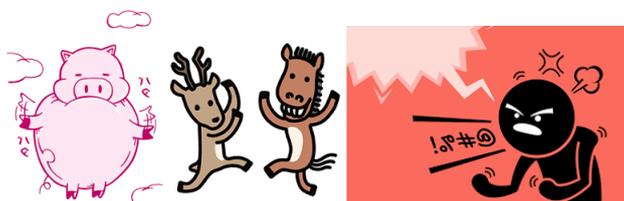
Dictation を今風に平たく言えば「memo、メモる」で dictionary はメモコレクション・ビッグデータみたいな感じかもしれません。

Dictation as same as memo in now a days, and Dictionary as same as big data made of collecting memo in now a days calling also.

本日はそういう推測結果となりました。

2022/12/20-2

(オマケの英語教室 strange explanation)



外国では豚は「汚い」と言うより「デブ」「間抜け」「だらしない」と言う印象でとらえられている気がします。

サンプル1の事例ですが。

バカを日本語の漢字で書くと「馬鹿」と書きます。何故バカが「馬と鹿」なのかさっぱり分かりません。いくら考えても思い当たりません・

しかし是を英語の範囲まで広げてみると empty(空っぽ)に近い言葉で vacant (すっからかんで中身なし) の発音 (ヴァカント) と馬鹿 (バカ) が音韻的には近いような気がしました。

Vacant は多少汚いですが vacuum car (真空吸引でナニを吸い取る車) の vacuum の源流語です。

となれば「中身をすっかり吸い取られた状態=バカ」の方が馬鹿より余程コジツケし易そうです。

しかし相変わらず「バカ」を何故「馬鹿」と書くのかの答えは見つかりません。

英語に訳して書くと更に変な感じです。

曰く

Horse and deer.

多分バカの「馬鹿」は当て字なんでしょうね。

となると音だけで見た「バカ」は何なのか？

例えばバカの「バ」は「罵倒」「罵詈雑言」の「バ」であると同時に「極めて強い音韻」でもあるのである程度納得がいきそうです。

となると最後に残った「カ」は一体何を表しているのか？

と書いて「しているのか？」の「か」？

詰り「お前は罵倒、罵詈雑言に値する様な奴か？」の「罵倒」の「バ」と最後の「か？」の「カ」が組み合わさって「バカ」となったとか。

コジツケもここまでくると我ながらたいしたものだと自画自賛してしまいます、わ。

(追記)

今日も又、辞書を引かずに、言い放題。

2022/12/21-2

(オマケの英語教室 calling in English)



外国人 (English speaker) に「電子レンジ (エレクトリックレンジ)」と言っても通じません。Micro(electric) wave oven と言えば通じます。

同じように「チンする」も通じません。あくまでも switch ON か cooking start で cooking over です。

本日本編で登場します「クリーナ」も「エレクトリック」をくっつけて electric cleaner(cleaning machine, or tool)と言わないと「何のクリーナか？」と必ず訊き返されます。

以前にもご紹介いたしましたが「テレビ」も機器なら TV set 番組なら TV program と言わないと全然通じません。

外国人さえ知らない極めて rare な動詞や形容詞なんか覚えるより先に、日常で使っている物の英単語をしっかりと見直して覚える事の方がコミュニケーション上は遥かに有効であろうと思います。

あと、いくら正しい英語でも相手が理解できないと「その正しさ」に何の意味もありません。

大切な事は先ず「相手が耳にして分るのか？こちらの意図が伝わるのか？」である意思疎通の成り立ちの可否でしょう。

「正しい英語さえ話せばいい」のか「コミュニケーションを成り立たそうとしているのか」目的の選択次第で英語学習法は全然違ってくるのではないのでしょうか？

2022/12/22-2

(オマケの英語教室 mandom)



どこの化粧品メーカーかは忘れましたが、昔の男性用化粧品の CM で、如何にも男臭い米
国俳優のチャールズ・ブロンソンをメイキキャラクターにした「Mandom」の CM と言うの
がありました。

ロケ地は確かアリゾナの砂漠だか、グランドキャニオンだか、ヨセミテ公園だかのどこか
の荒野で、寡黙で渋いチャールズ・ブロンソンが mandom ブランドの化粧水（コロン）を
ホホから首にかけて塗り付け、最後は「ウ～ん、マンダム」と言う一言で締めくくる奴で
した。

このマンダム(mandom)を文章内でタイピングすると必ず下に赤の波線、つまり「間違い
であるか存在しない単語」と出ます。

という事は造語なのかもしれません。

因みに man は当然ながら「男」 dom は dome（覆いの有る建物、家、本拠地）から派生し
た「世界」「領域」「気質（かたぎ）」「～臭さ」と言ったような意味です。

それを並べてみますと「男の世界」とか「男気質」「男臭さ」となります。

しかし、令和の現代では「男の世界」とか「男気質」「男臭さ」なんて全然流行りません。
古色蒼然、時代遅れ、過去の遺物、時代錯誤と言われるのがオチです。

しかし昭和の時代にはこれが一世を風靡しておりました。

思うに昨今は全て neutral 中性的なものが高く評価されておりますが、本当に其れが本音
なのか疑わしく思っております。

大人が子供モドキを装って「友達面をする」のを見て子供は不信感を持ちます。そんな似
て非なるものを子供は内心求めておらず、内心で求めているのは子供とは全然違った見方
をする「大人としての大人」という子供には及びもよらない「別次元の存在」の様な気が
します。

だとしたら女性が、或いは男性が本心で求めているのは「女性に近づいた男性」でも「男
性に近づいた女性」要するに「男なんだか女なんだかよく分からない中性的な代物」「男

でも女でもない「人間」「人」という架空の存在」等ではなく「男なら男」「女なら女」というそれぞれの対極に位置する（自分には無いものを持っている、だからこそ魅力的に見える、何としても手に入れたいという強い欲求が起こり得る）メリハリの付いた「ハッキリとした具体的な姿」なのではなかろうかと推測しております。

権利としての男女同権、平等と実際存在の男女の希求を混ぜこぜにして大きな欲求不満や不満足陥る様な不幸な結びつきを産みだしてしまっているのが現在の全世界的傾向、就中我が国は突出してその傾向が甚だしい。

以上は時代に置いてきぼりを食らっているのかもしれないだけの「昭和生まれの爺い」の意見で御座います。

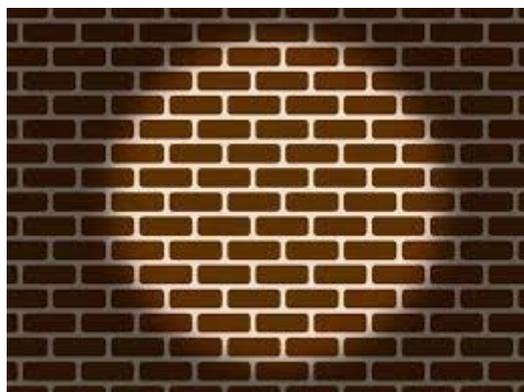
（注）

自分の顔は渋くて男臭い寡黙なチャールズ・ブロンソンとはまるで違い、男にあるまじきおしゃべりな「男のおばさん」、或いは八百屋の軒先で一山幾らで売られているザル籠上の「ジャガイモ」の様な顔で御座いますので、決してかの如きセクシーな顔をご想像なさいませぬ様、お願い申し上げます次第で御座います。

この一文はひとえに、読者の皆様、なかんずく奥様方の旦那様への応援歌とご理解くださいませ。

2022/12/23-2

(オマケの英語教室 research)



40 年以上前、新入社員の頃市場調査の仕事を先ず与えられました。市場調査は英語で market research と別セクションのマーケティング本部市場調査課の先輩が言っていました。

話は変わりますが、子供の頃よく見たアメリカ TV 戦争ドラマ「combat (邦題コンバット)」のある回で探照灯の事を search light (サーチライト) と言っているのを耳にしました。

Search と research。見ると re + search が research となっている事が分りました。

冒頭の二語に和訳を代入すると

Search=探 (たん、さがす) 査で

Research=調 (ちょう、しらべる) 査

となりました。

では探すと調べるは英語に照らし合わせると何が違うのか？

此処で思い出されるのが re は「反復」を表す接頭辞だという事です。

詰り要約すると探す事を一回に限らず、諦めずに繰り返し行う行為が「調査」即ち research であると。

リサーチ(research)って結構「執念深い」行為なのです。その執念深さがマーケティングに使われるのならイイのですが、spy 活動か何かに当てられたら、其れこそ「目も当たれない」事態になってしまいそうです。

その様なはき違えは厳に慎みたいもので御座います。

2022/12/24-2

(オマケの英語教室 generation gap)



もう 30 年間クリスマスイブにはご縁がないもので、本日のお題もイブとは全く関係なく
て申し訳ございません。が、

Generation gap とよく言います。カタカナで「ジェネレーションギャップ」と書いたり
「世代間格差」「世代間の相違 (ちがい)」と書いたりもします。

Gap と言うのは単純に訳すと「違い」となる訳ですが、では difference が言う処の「違い」
と、其れこそ何が違うのか？ですが、是は difference が「進む方向」「方角」の違いの様な
イメージとして平面上、或いは立体の中での角度の差異であるのに対して gap は同じくイ
メージ的には同一線上で「ドンと上がった」「ガクンと下がった」するイメージです。
要するに他者との、或いはそれ迄との比較上の問題だと。

同じ線上を歩いての違いや差ですから違う方向方角角度と異なり当然のことながら人口密
度が上がるので先陣争いや分け前争いが発生いたします。なので、この差を「格差」と言
ったりするわけです。

所得であれば income gap

性的格差であれば gender gap

帽子の格差であれば cap gap、是は自前の冗談です (陳謝)

一方 generation (世代) と同一語幹から発生する英単語として

General (将軍、大将) や general affair (総務) gender (各種性を漏れることなくひっく
るめたもの) と言うのがあります。

共通するイメージとしては「押しなべて」「統括する」「一括りにする」と言った処でしょ
うか。要するに「束ねる」という様な事を表しているようです。

なので、generation gap と言うのは「束と束の間の違い」という事なのでしょう、コアイ
メージは。

しかし当然のことながら「生まれはその世代だが、俺は (私は) その束の一葉 (わら) で

はないぞ（ないわよ）」と言う方もいらっしゃるかと存じます。

それが単なる自己顕示欲による見せ掛けの差別化差異化ポーズでない限り、内内で心密かにそう思っておられる方は「恐らく面白い方なんだろうなあ」と自分は思っております。猶、蛇足ながら、本日手前どもは Christmas Eve Gap にさいなまれております。

（注）

写真の CPU に記載されております GEN は generation の略で御座います。

つまり core i5 ランク CPU(パソコンの頭脳だと思ってくださいませ)の第八世代と言う意味で御座います。将に世代間格差もいい処。一世代ナンバーが違うと同じ CPU でもその性能が格段に進化していたり致す実に競争の激しい世界で御座います。

2022/12/25-2

(オマケの英語教室 smart)



我国では携帯電話の事を現在は殆どスマホ(smart phone)と言っておりますが外国人は我が国で言うガラケーであろうがスマホであろうが全部まとめて mobile phone と申しておるようです。

いずれの場合にもフォン(phone)が付いておりますが、特にスマホに限っては是はもうフォン等ではなく完全な PC (パソコン) になっております。いふなればスマートフォンではなく主客完全に逆転して handheld pc with phone function 電話機能付き携帯パソコンと申した方が妥当でしょう。

だからある程度パソコン文化に素養がある若い人にはスムーズに請けいれられ、パソコン文化に疎遠なご年配の方々には「概念の切り替えや把握が出来ない」面があつて難しく感じられるのかもしれませんが。どうせの事ならご年配の方々には「是は電話ではなくパソコンなんだから難しく感じられて当たり前だ」と割り切った方が「俺は電話にすらついて行けなくなっているのか。バレルと馬鹿にされるから人にはおいそれと使い方を訊けないな」等と変なプライドからくるストレスを感じないで済む分、覚えも早いような気がするのですが。

それはさて置き、我が国では細身のヒトの事を「あの娘、めっちゃスマートやな」とか申しておりますが、外国で細身を表す言葉は smart ではなく slender(body)の様です。

smart と言うのは頭がイイとかキレルと言つた意味があり、clever 悪賢いに対比していい頭の使い方を指しているようです。

2022/12/26-2

(オマケの英語教室 translation)



翻訳の事を英語で translation と言います。

他に trans の付く言葉でよく耳にするのは transit「飛行機などの乗り継ぎ、乗り換え」transport（運送や輸送をする）transmitter（送信機）なんかがあります。最後の transmitter と言うのは余りお馴染みではないかもしれませんが、自分が映像機器の商品企画に携わっていた時はよく耳にしました。今でいうワイヤレス（無線）みたいな感覚でしょうか。

此処でこの trans という接頭辞に共通するイメージは何かを考えてみると、何となく「瞬時に遠くへ飛ばす、ぶっ飛ぶ、移動する」今風に申せば「ワープ (warp)」すると言ったような感じを得ました。

なので、translation 翻訳と言うのは、どちらかと言うと「丁寧に直訳する」感覚よりはある意味「思い切ってドッカンと意識する」事のような感じもします。

何しろ大昔はろくな辞書もなかったわけですから、そうならざるを得なかったのだと思います。例えばアラブの商人がヨーロッパからの荷物を積んでシルクロードを駱駝に揺られた先の中国で商売をする際、文化の全く違う者同士の会話は当然ながら意識の塊でしかなかったでしょう。

それはさて置き、恥ずかしながら自分が今迄手探りで書いてまいりました英訳も、又外国人との会話の中でも感じましたのは、正しい直訳ではなく意識でも十分だという事です。何も四角四面に「外交会議で用いるような直訳的な正しい英語」にしなくても一向に差支えがない。いやそれどころかその方がそれぞれの国の訳し方の特色が出て却って面白いし、相手も面白がるという事も分かってきました。その際多少の間違いなど全然全く問題にすらならないことも。

ですので、皆様方もあまり細かい事は気にせず、思いの丈、自分なりの表現を見つけられ、それを試されてみてはいかがでしょうか。

外国人は決して馬鹿にしたりしませんから。細かい注意をするのは我が国の同胞の方です。外国人は話が楽しめれば、多少の事は全然気にしていないのです。

(追記)

今ふと思いついたのですが manage(or management)のコア・イメージと言うのは我が国で

は control (管理) ですが、外国では help, support, handle, break through the bottle neck
要するに「お助けマン」的な感じで「全然違ってよな」とい事で御座いました。

2022/12/27-2

(オマケの英語教室 win lose)



中学校時代、小学校6年生の時毎日見ていたテレビ時代劇再放送番組「白馬の剣士」に憧れて中学進学と同時に剣道部に入部、所属しておりましたが、己が「白馬の剣士」姿を胸に、勢い込んで入部したのとは裏腹に個人戦はいつも初戦敗退、団体戦には参加さえさせて貰えず、いわば常に「負け組」ご常連様でありました（柔道で言えば万年白帯です）最初は「こいつは案外筋がイイ」と見込んで呉れていた先輩からも「ダメだ、こいつは」と次第に見放され、最後は「ん、お前未だ居たの？」扱い。

剣道に限らず恋愛、学業、仕事、何をやってもいつも負け組ご常連様。出だしは決して悪くはなく案外此处で言う処の「勝ち組」に席を置いているのですが、途中から「見かけ程にもない奴。期待を裏切りやがって」になり、とどのつまりの結末時点では「はよ、でていかんかい、このド腐れ野郎が」と、是はもう絵にかいたような「負け組」に陥っておりました。

その関係上、逆にあまり勝ち負けが気にならなくなっておりました。イヤ、正確には、そんな事、いちいち気にしていたのではやっていけなくなったからです。平たく申せば「開き直っちゃった」訳です。

それをやや伯を付けた状態で称して曰く

「負け状態が俺の常態 (To lose situation is my normal position)」

そういえば昔の歌手で水前寺清子が歌っていた歌の一節に

「♪勝った、負けたと騒ぐじゃないぜえ♪」と言うのがありましたっけ。

その歌のせいで、と言う訳でもないのですが、現在も余り勝ち負けにはこだわっておりません。

むしろずっと負け組に居たからこそ、何回も訪れた突然の逆境にも「ま、いつものこっちゃで。気にせんとこう」と余りその落差に動じなくて済んでいる面もあります。

失敗したら、又次を試しゃええわ。

人生、何が幸いするかわからないもんです。

Life is magical. Bad situation gives a survival mind, ability, knowhow, sometimes.

If lose, try to next, that`s all.

Then (なので)

“Namaste everybody!! Good Luck!!” (こんにちは、みなさん。おたっしやで)

I want to say above(なので、御座います)

Thank you so much.

2022/12/28-2

(オマケの英語教室 onomatopoeia or onomatopy?)



日本人には面白く聞こえても外国人には相手が面白い事を言っているのか、それとも極めて厳粛な事を言っているのかわからない場合があるようです。

例えば

「チチンプイプイ (chi-chin-pui-pui)」

これはもう絶対に受けるだろうと思って口にしましたが、豈図らんや外国人さんは完璧スルー、で反応なし。

同じように語呂は良いのですが果たしてそれが何の事だか日本人の我々には分らない外国語もあります。

子供の頃学校の課外授業の映画館で見た、傘を片手に空から舞い降りて来て、確か煙突から入ってくる「メリー・ポピンズ？」の中で歌われていた

「♪ chin chimney chin chimney chin chime cherry (チンチムニー、チンチムニー、チンチム、チェリー) ♪」

何かがそうです。

大人になった今、ある程度英単語を知ってくると chimney が煙突で cherry がさくらんぼの事を指しているのだという事は分かるのですが、煙突とさくらんぼが果たしてどういう関係にあるのかはさっぱり分かりません (ひょっとすると cherry ではなく cheny (=chimney の変形?) と歌っていたのかもしれませんが)

でも語呂が良くて面白いので覚えておりました。

そういったことがあったので「チチンプイプイ」も受けるだろうと思って使ったのですが、外国人さんには全く理解できなかった様です。

と言ったような経験をすると我が国の落語や漫画に端を発したと思われる「擬音文化 (擬音に対する感度)」というものは相当なものなのだなぁと一人「感心致して」おります。

I have been surprised at the sense of Japanese for onomatopoeia, privately, self-praising.

(追記)

他には落語に出てきた「寿限無寿限無、後光の擦り切れ、解砂利水魚の運行末水行末、食

う寝る処に住む処、パイポ、パイポのシューリンガー、シューリンガーのポンポコナー、
ポンポコナーのポンポコピー、の長究明の、長介さん」
というのも、長いのですが、語呂が良くて覚えておりました。

2022/12/29-2

(オマケの英語教室 bald head)



今迄英語で「禿頭」の事を bold head(ボールドヘッド)と書いておりました。

特に下に自動チェックが間違いを示す赤波線も出ませんでしたので疑ってもみませんでした。

処が或用件があつてたまたま「禿アタマ」と打ち込んだら bald head と出てきました。

「ん？何か違う」

と自分の目の中の残像が警告を発し、よく見てみたら bold の「o」と bald の「a」が違つておりました。

正解は「a」の bald が「禿」で bald head が「禿頭」です。

では「o」の bold head は何だったのか？

是は「大胆な頭」が正解です。詰り自分は無意識に「大胆な頭(bold head)=表現したかった意味としては大胆な髪型(bold hair style)」と書いていた訳で、bold hair style ではなく bold head でも、考えようによっては、それはそれで成り立ちますので自動チェックも「間違い」とは判定しなかつたのでしょう。

一つ勉強になりました。

因みに自分の様な自ら意図的に刈る「坊主頭」は shaved head 又は skin head と言うのだそうです。

髪の毛が抜けたのではなく「剃った」或いは剃った後の結果「肌が剥き出しになった頭」と言うような感覚でしょうか。

再び「因みに」ですが、最近自分はわざわざ坊主刈りにしなくても、前頭部が大分剥げてきてしまいましたので、剃髪面積が少なくなり可成り手間が省けて助かっております(頭は電動シェーバーを使って自分で刈っておりますので)

(追記)

自分の様な 69 の爺さんが禿げても何の不思議もありませんし、又恥でもありませんので、事実を事実の儘ご報告申し上げた次第でございます。

若い頃は髪の毛が抜ける度にそれを大層気にしておりましたが、最近では抜けても「ハイ、長い間ご苦労様。お疲れ様でしたあ」位にししか思いません。全然気にならなくなっており

ます。

爺さんになって全てが悪いという訳でもないようです。気楽になれていい事もあるようです。

考えてみれば確かに「意味不明」です。

(著者プロフィール) Writer`s profile.

うときゅう いっき (writer`s name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ (was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社うと Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, "utokyu corporation" in 2014)

現在主業はネパールカレー屋。 (Now main business Nepali curry restaurant, "Namaste everybody" owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社うと Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone)：044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 しばらくの間「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2023年6月9日 初版発行 (3rd June 23 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。All cory rights reserved.

(その他著書)

- 多数
- 尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。